

OCAD App マニュアル

この資料は、OCAD Wiki ページに掲載の"OCAD App Manual"を、GoogleTranslate により翻訳編集した日本語版である。

2026 年 3 月

CAMap 研究会

この wiki ページでは、OCAD アプリの動作について説明します。

[OCAD App](#) のメイン ページへ | [OCAD App Data Exchange](#) ページへ



Android、iOS、Windows の各オペレーティングシステムには若干の違いがあります。このドキュメントは 3 つすべてを使用して作成されているため、画像が若干異なる場合があります。

目 次

- [1 登録](#)
 - [1.1 メールアドレスと名前](#)
 - [1.2 その他の機能](#)
 - [1.3 デモモード](#)
 - [1.4 技術情報](#)
- [2 プロジェクト](#)
 - [2.1 プロジェクトの追加](#)
 - [2.1.1 QR コードから](#)
 - [2.1.2 プロジェクト ID から](#)
 - [2.1.3 フォルダから](#)
 - [2.1.4 サンプルプロジェクト](#)
 - [2.1.5 サンプルプロジェクトのダウンロード](#)
 - [2.2 プロジェクトページ](#)
 - [2.2.1 プロジェクトリストの更新](#)
 - [2.2.2 i 設定](#)
 - [2.2.3 インターネットの状態](#)
 - [2.2.4 プロジェクトのリスト](#)
 - [2.3 プロジェクトの管理](#)
 - [2.3.1 開く](#)
 - [2.3.2 アップロード](#)
 - [2.3.3 削除](#)
 - [2.3.4 その他の機能](#)
 - [2.3.5 プロジェクトのステータス](#)
 - [2.3.6 デスクトップからのプロジェクトの更新](#)
 - [2.3.7 プロジェクトのライフサイクル](#)
- [3 プロジェクトの編集](#)
 - [3.1 プロジェクトツールバー](#)
 - [3.1.1 閉じる](#)
 - [3.1.2 GPS 機能](#)
 - [3.1.3 地図レイヤーとメモ](#)
 - [3.1.4 設定](#)
 - [3.2 ステータスバー](#)
 - [3.2.1 インタラクション](#)
 - [3.2.2 選択](#)
 - [3.2.3 測定](#)
 - [3.2.4 GPS ステータス](#)
 - [3.3 地図](#)
 - [3.3.1 指の操作](#)
 - [3.3.2 ボタン](#)
 - [3.3.3 設定可能なズームボタン](#)
 - [3.3.4 縮尺バー](#)
 - [3.4 地図ツールバー](#)
 - [3.4.1 ボタンのテーマ](#)
 - [3.4.2 ボタンの行](#)
 - [3.4.3 クイック設定ボタン](#)
 - [3.5 新規地図オブジェクトの描画](#)
 - [3.5.1 点状オブジェクト](#)
 - [3.5.2 線状および面状オブジェクト](#)
 - [3.5.3 ジオメトリの再利用 - 追従](#)
 - [3.5.4 終了または破棄](#)
 - [3.5.5 オブジェクトプレビュー](#)
 - [3.6 選択した地図オブジェクトの編集](#)
 - [3.6.1 地図オブジェクトの選択解除](#)
 - [3.6.2 編集アクション](#)
 - [3.6.3 選択動作の編集](#)
 - [3.6.4 選択範囲の切断動作](#)
 - [3.6.5 選択範囲の形状変更動作](#)

- [3.6.6 点の追加と削除の動作](#)
 - [3.6.7 頂点の種類の変更](#)
 - [3.6.8 面状オブジェクト内の穴の編集](#)
 - [3.6.9 保護された地図オブジェクトの編集](#)
 - [3.6.10 コース設定オブジェクト](#)
 - [3.7 最小距離](#)
 - [3.8 地図のレイヤー](#)
 - [3.9 スケッチ](#)
 - [3.9.1 描画](#)
 - [3.9.2 消去](#)
 - [3.9.3 単色の消去](#)
 - [3.10 メモ](#)
 - [3.10.1 新しいメモの作成](#)
 - [3.10.2 メモの選択](#)
 - [3.10.3 メモアイコン](#)
 - [3.10.4 メモのリスト](#)
 - [3.10.5 メモの並べ替え](#)
 - [3.10.6 メモのフィルタリング](#)
 - [3.10.7 削除](#)
 - [3.10.8 OCAD デスクトップ上のメモ](#)
 - [3.11 元に戻す – やり直し](#)
 - [3.12 GPS 機能](#)
 - [3.12.1 スケッチの記録](#)
 - [3.12.2 地図オブジェクトの記録](#)
 - [3.12.3 記録の一時停止](#)
 - [3.12.4 元に戻す – やり直し](#)
 - [3.12.5 GPS ツールバーの非表示](#)
 - [4 設定](#)
 - [4.1 表記規則](#)
 - [4.2 一般設定](#)
 - [4.2.1 テーマ](#)
 - [4.2.2 言語](#)
 - [4.2.3 ボタンサイズ](#)
 - [4.2.4 画面の余白](#)
 - [4.2.5 ツールバーの位置](#)
 - [4.2.6 ズーム](#)
 - [4.2.7 コンパス](#)
 - [4.2.8 ステータスバー](#)
 - [4.2.9 縮尺バー](#)
 - [4.2.10 磁北線](#)
 - [4.2.11 デモプロジェクト](#)
 - [4.2.12 ユーザ設定](#)
 - [4.3 測地](#)
 - [4.3.1 測地](#)
 - [4.3.2 ロギング\(記録\)と経路追跡](#)
 - [4.4 記号](#)
 - [4.4.1 お気に入りの選択](#)
 - [4.4.2 お気に入りエディタ](#)
 - [4.4.3 セット](#)
 - [4.4.4 その他のセット](#)
 - [4.4.5 保護された記号](#)
 - [4.4.6 セットの編集](#)
 - [4.4.7 記号のお気に入りの削除](#)
 - [4.4.8 使用例](#)
 - [4.5 描画](#)
 - [4.5.1 スケッチ](#)
 - [4.5.2 メモ](#)
 - [4.6 サポート](#)
 - [4.6.1 ログの設定](#)
 - [4.6.2 フィードバックの送信](#)
 - [4.6.3 アプリの設定](#)
 - [4.6.4 その他の情報](#)
-

1. 登録

OCAD App（アプリ）の全機能は、登録後にご利用いただけます。

登録するには、ユーザは有効なメールアドレスと名前を入力する必要があります。

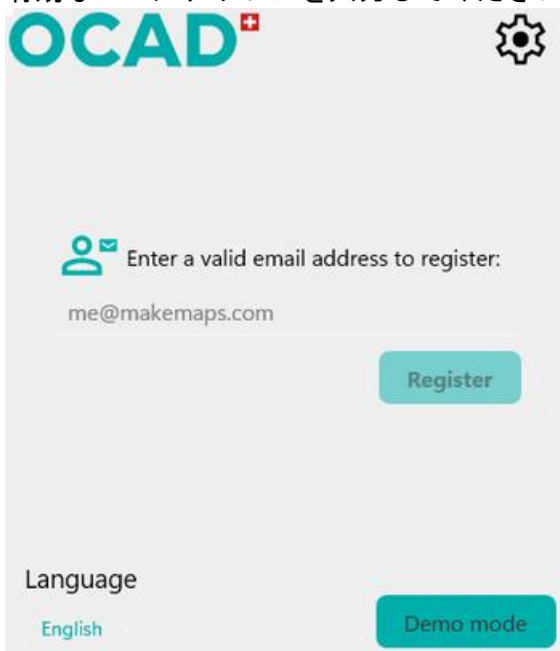
登録しない場合は、アプリを評価するためのデモモードのみにアクセスできます。

複数のデバイスを登録する場合は、同じメールアドレスを使用し、各デバイスにユーザ固有の名前を付けてください。

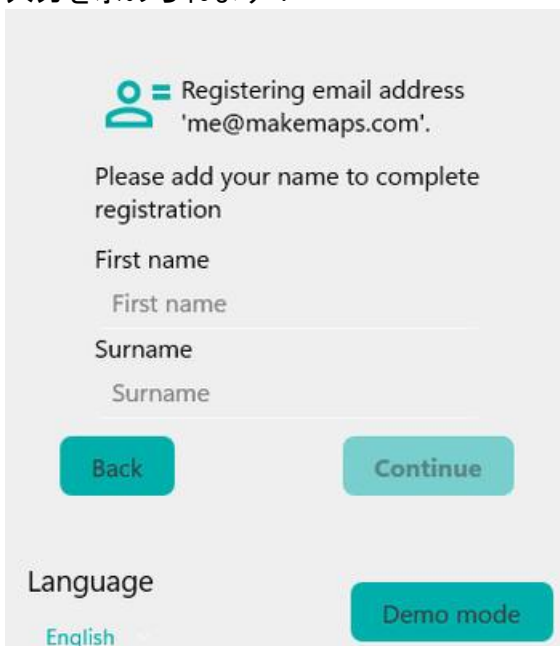
💡 例、“iPad”、“iPhone”、“Android タブレット”、“Robs Phone”など。2つのデバイスの名前が同じ場合、データがどのデバイスからのものか正確にわからないため、アプリからOCAD デスクトップにデータをインポートするときに混乱が生じる可能性があります。

1.1 メールアドレスと名前

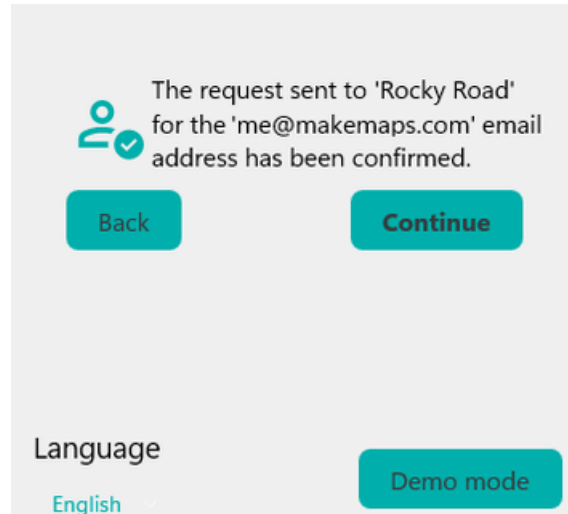
有効なメールアドレスを入力してください：

The screenshot shows the OCAD app's registration screen. At the top is the OCAD logo with a Swiss flag and a gear icon. Below it, a message says "Enter a valid email address to register:" with an email icon. A text input field contains "me@makemaps.com". A "Register" button is to the right. At the bottom, there's a "Language" section with "English" selected and a "Demo mode" button.

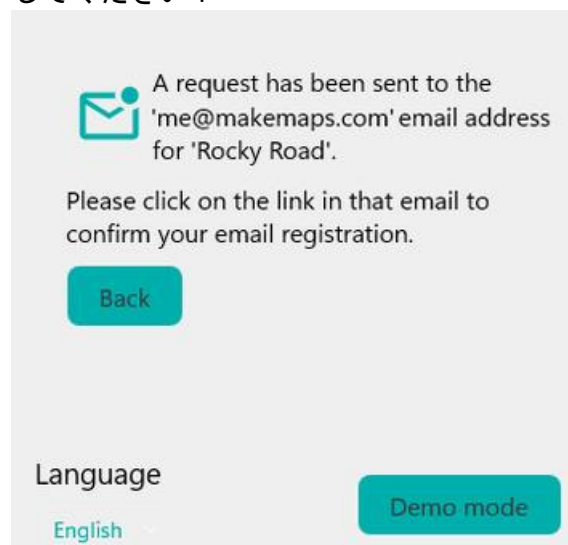
有効なメールアドレスを入力すると、名前の入力を求められます：

The screenshot shows the next step in the registration process. It says "Registering email address 'me@makemaps.com'." and "Please add your name to complete registration". There are two text input fields: "First name" and "Surname". Below them are "Back" and "Continue" buttons. At the bottom, there's a "Language" section with "English" selected and a "Demo mode" button.

名前を入力すると、次のアドレスにメールが送信されます：

The screenshot shows a confirmation screen. It says "The request sent to 'Rocky Road' for the 'me@makemaps.com' email address has been confirmed." with a checkmark icon. There are "Back" and "Continue" buttons. Below that, there's a "Language" section with "English" selected and a "Demo mode" button.

アドレス内のリンクをタップして登録を完了してください：

The screenshot shows a confirmation screen. It says "A request has been sent to the 'me@makemaps.com' email address for 'Rocky Road'." with an envelope icon. It then says "Please click on the link in that email to confirm your email registration." with a "Back" button. Below that, there's a "Language" section with "English" selected and a "Demo mode" button.

アプリが確認を検知し、[続行] ボタンをタップすると[プロジェクト](#) ページに移動します。

1.2 その他の機能

ユーザインターフェースの言語を変更できます。 ボタンを使用して、いくつかの設定を変更できます。

1.3 デモモード

メールアドレスを入力していない場合は、デモモードでアプリを評価できます。

デモモードでは：

- ユーザは2つの[サンプルプロジェクト](#)を使用してアプリを評価できます。
- ユーザは他のプロジェクトをダウンロードまたはインポートすることはできません。

- デモモードでは、OCAD に通知やその他の情報は送信されません。
- メールアドレスが入力されるまで、登録ページが常に表示されます。
- メールアドレスを入力するか、デモモードを選択すると、アプリは[プロジェクト](#) ページに移動します。

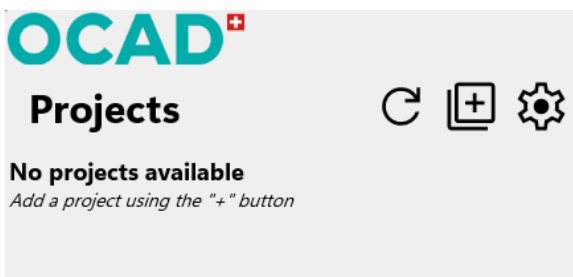
1.4 技術情報

- 登録にはインターネット接続が必要です。
- OCAD は登録された各ユーザの電子メールアドレスと名前を保存します。また、各ユーザのデバイスリスト、デバイス名、デバイス ID を保存します。
- 1 台のデバイスにつき、一度にアプリに登録できるユーザは 1 人だけです。
- ユーザとデバイスの登録はログインメカニズムではありません。パスワードはありません。
- ユーザが電子メールアドレスまたは名前を変更する場合は、まずデバイスからユーザの登録を解除する必要があります。[ユーザ設定](#) を参照してください。
- ユーザがデバイスから登録を解除した場合、すべてのプロジェクトはデバイス上

に保持され、引き続き編集できますが、新規登録を行うまでプロジェクトのアップロードまたはエクスポートはできません。

- ユーザが複数のデバイスを所有している場合、2 台目以降のデバイスを登録するときに名前の入力を求められることはありません。
- ユーザが複数のデバイスを所有している場合、1 つのデバイスを登録解除すると、OCAD サーバー上のそのユーザのデバイスのリストからそのデバイスが削除されます。最後のデバイスが登録解除されると、ユーザも削除されます。解除されると、ユーザも削除されます。

2. プロジェクト

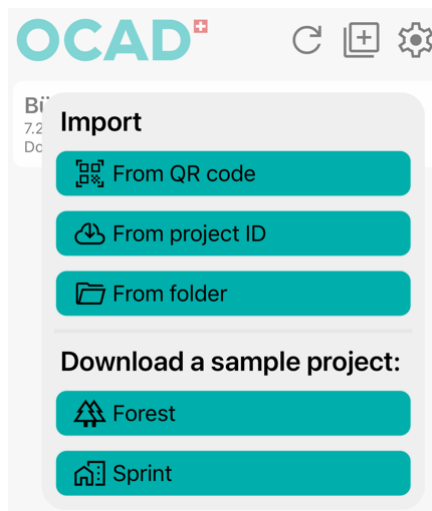


プロジェクト ページにはプロジェクトのリストが表示されます。

2.1 プロジェクトの追加

プロジェクトを追加するには、アプリにインポートする必要があります。このプロセス中に、OCAD ファイルはネイティブ アプリ形式に変換され、大きな地図の描画と表示のパフォーマンスが向上します。

プロジェクトを追加するには  ボタンをタップします。



プロジェクトを追加すると、まずダウンロードされ、そのあと処理されます。大規模なプロジェクトの場合は数分かかることがあり、インターネットの速度とデバイスのパフォーマンスによって異なります。

アプリはデバイスに保存されている OCAD ファイルに変更内容を直接書き込むことはなく、すべてのデータと変更内容は内部ストレージに保存されます。

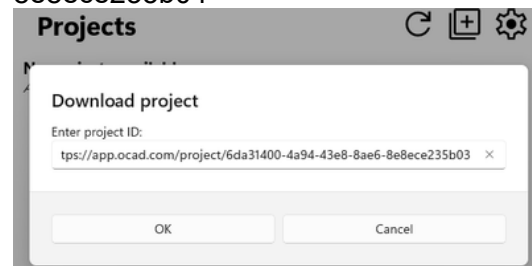
QR コードから

デバイスにアプリからアクセスできるカメラが搭載されている場合（権限が必要になる場合があります）、ユーザは OCAD デスクトップから QR コードをスキャンしてプロジェクトをダウンロードおよびインポートできます。デバイスのカメラを使用して QR コードをスキャンすると、OCAD アプリが起動し、プロジェクトのインポートが開始されます。

プロジェクト ID から

OCAD デスクトップは、App Data Exchange プロセスにリンクを生成します。このリンクには、入力フィールドに貼り付けることができる ID が含まれています。クリップボードでリンクまたは ID が検出されると、ID フィールドに自動的に貼り付けられます。

例： <https://app.ocad.com/project/6da31400-4a94-43e8-7ae6-8e8ece235b043e8-7ae6-8e8ece235b04>



ユーザリンク全体または ID のみを貼り付けることができます。

ユーザが電子メールまたはその他のメッセージでこのリンクを入手した場合は、それをタップ/クリックすると、OCAD アプリが開き、プロジェクトがダウンロードされます。

フォルダから

OCAD デスクトップと OCAD アプリ間でプロジェクトを移動するには、一般的に OCAD クラウド転送サービスを使用することをお勧めしますが、手動でデータをコピーする必要がある場合もあります。例：

- ユーザがインターネットに接続できない
- 転送プロジェクトまたは地図ファイルが OCAD デスクトップ上で失われているため、ユーザはクラウド転送を使用して地図を取得できない
- ユーザはプロジェクトをインターネット上に置くことのセキュリティを懸念している。

デバイスが Android か iOS かによって、方法が若干異なります。手順は：

1. OCAD デスクトップでのエクスポート
2. iOS または Android デバイスへのコピー
3. デバイスへのインポート
4. ユーザがデバイス上でプロジェクトに変更を加える
5. デバイスからのエクスポート
6. iOS または Android デバイスから Windows コンピュータへのコピー
7. OCAD デスクトップへのインポート

これらのプロセスに関する情報は、[OCAD App Data Exchange](#) ページをご覧ください。

サンプルプロジェクト

2つのサンプルプロジェクトはいつでもダウンロードできます。

サンプルプロジェクトのダウンロード

2つのサンプルプロジェクトはいつでもダウンロードできます。

- サンプル プロジェクトはどのような方法でも編集できますが、サンプル マップの実際の場所にいる必要がある GPS 機能な

ど、特定の機能は完全には動作しない可能性があることに注意してください。

- ユーザはサンプルプロジェクトを OCAD サーバーにアップロードできません。
- ユーザはいつでもサンプルプロジェクトを削除して再インポートできます。

2.2 プロジェクトページ

プロジェクトリストの更新

プロジェクトリストを更新するには、 ボタンをタップしてください。詳細については、[“デスクトップからのプロジェクトの更新”](#)を参照してください

設定

 ボタンをタップすると設定ページに移動します。[“設定”](#)をご覧ください。

インターネットのステータス（状態）

プロジェクトページの下部、アプリのバージョン情報の横に小さなクラウドアイコンがあります：

 OCAD App version: 1.0.5.71

クラウドをタップすると、インターネットの状態と、アプリが OCAD サーバーに接続されているかどうかが表示されます：

 Connected to the Internet and OCAD server

プロジェクトのダウンロードまたはアップロードができない場合は、デバイスに次のいずれかの問題がある可能性があります：

- インターネットに接続されていない – 赤いクラウド
- OCAD サーバーへの接続に問題がある – オレンジ色のクラウド

クラウドアイコンの横に、問題を示すエラーメッセージが表示されます。

 アプリは OCAD サーバーへの常時接続を維持しません。接続が必要なのは、以下の場合のみです：

- プロジェクトのダウンロード
- プロジェクトのアップロード
- プロジェクトの更新

- プロジェクトリストの更新

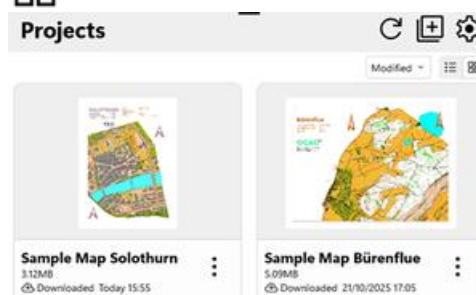
- ユーザ登録

- ログファイルまたはプロジェクトの OCAD サポートへの送信

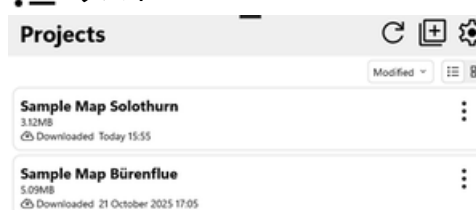
プロジェクトのリスト

プロジェクトのリストは、右上のボタンを切り替えることで、タイル表示  または リスト表示  に切り替えることができます：

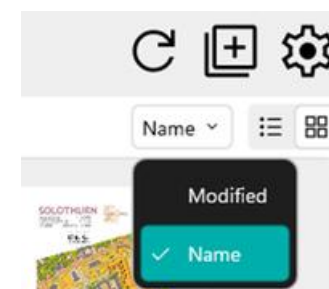
 タイル



 リスト



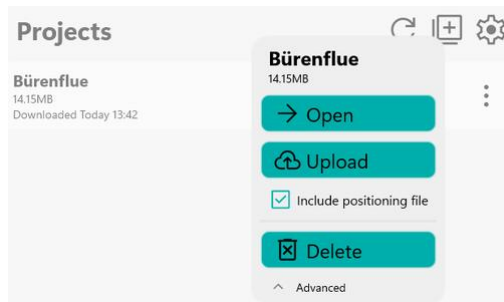
プロジェクトは、名前のアルファベット順、または更新日（新しい順）で並べ替えることもできます：



2.3 プロジェクトの管理

プロジェクトをタップして開きます。

⋮ ボタンをタップすると、プロジェクトオプションが開きます：



開く

プロジェクトの“開く”ボタンをタップしてもプロジェクトが開きます。

アップロード

変更を加えたら、プロジェクトを OCAD サーバーにアップロードし、OCAD デスクトップにインポートできます。

アップロード時に、オプションで位置情報ファイルを含めることができます。これにより、position.db ファイルを OCAD デスクトップにインポートできるようになります。

削除

プロジェクトを削除できます；確認の警告が表示されます。この操作を元に戻すことはできません。

その他の機能

ここには他の機能も表示される可能性があります。現在は：

- エクスポート
- QR コード
- プロジェクトをサポートに送信



エクスポート

詳しくは、[OCAD App Data Exchange](#) ページをご覧ください。上記の“位置情報ファイルを含める”チェックボックスをタップすると、

position.db ファイルもエクスポートされます。

QR コード

この QR コードは選択したプロジェクトを表し、新しいデバイスにプロジェクトをダウンロードするために使用できます。以下の点にご注意ください：

- OCAD デスクトップからエクスポートされ、OCAD クラウド転送サービスに存在するプロジェクトの最新バージョンがダウンロードされます。
- インターネット接続が必要です。
- ダウンロードしたプロジェクトには、クラウド転送サービスで設定されたものと同一権限が付与されます。

この機能を使用すると、プロジェクトを友人と簡単に共有したり、別のデバイスにダウンロードしたりできます。

プロジェクトをサポートに送信

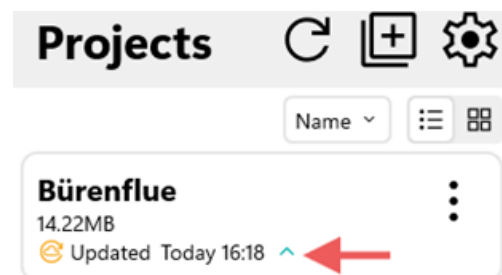
プロジェクトを OCAD サポートに送信する際、ユーザは送信理由を入力するよう求められます。以下の場合にのみプロジェクトを送信してください：

- バグ修正やデータ復旧などのサポートを提供するために送信を依頼された場合
- プロジェクトを繰り返し開くことができず、ユーザがサポートを必要としている場合。

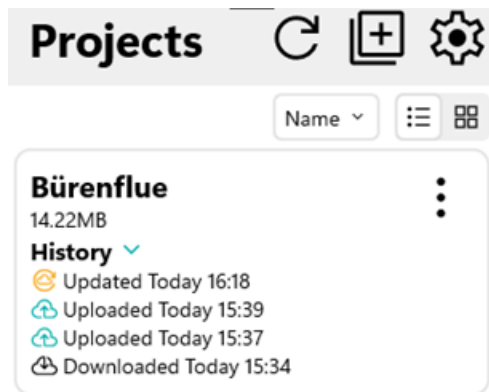
プロジェクトを OCAD サポートに送信する際、下絵地図ファイルや画像は送信されませんのでご注意ください。プロジェクトを OCAD サポートに送信するには、インターネット接続が必要です。

プロジェクトのステータス（状態）

最新のダウンロード／アップロード操作がプロジェクトの下方に表示されます。



その横には小さな緑色の矢印があり、この矢印をタップすると下方に履歴が開きます。

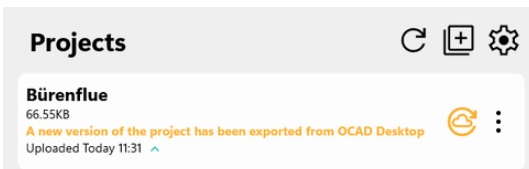


小さな矢印またはリストを再びタップすると、履歴が閉じます。

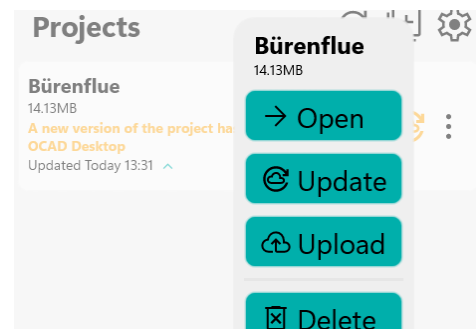
例えば、OCAD サーバー上のプロジェクトに新しい更新があった場合、リストを更新すると更新内容が表示されます。[“デスクトップからのプロジェクトの更新”](#)を参照してください。

デスクトップからのプロジェクトの更新

プロジェクトがデスクトップから更新されエクスポートされた場合、プロジェクトリストを更新すると、更新されたバージョンのプロジェクトがダウンロード可能であることが示されます。



 ボタンをタップすると、アプリ上のプロジェクトが更新されます。または、“更新オプション”を使用することもできます：



重要! 更新時には、下絵地図とプロジェクトの一部の設定のみが保持されます。その他のデータはすべて削除され、新しいデータが再インポートされます。

ユーザが OCAD サーバーにアップロードしておらず、デスクトップ上の OCAD ファイルにインポートしてマージしていない変更があった場合、それらの変更は失われます。

また、転送プロジェクトが OCAD デスクトップ上で削除された場合にも、通知が表示される可能性があります。

この場合、OCAD デスクトップに転送する必要がある変更がある場合は、プロジェクトをアプリからエクスポートし、ユーザのコンピュータに手動で転送する必要があります。

注：クラウド転送プロジェクトに関するこれらの通知は、アプリがインターネットと OCAD サーバーに接続されている場合にのみ表示されます。[“インターネットのステータス”](#)を参照してください。

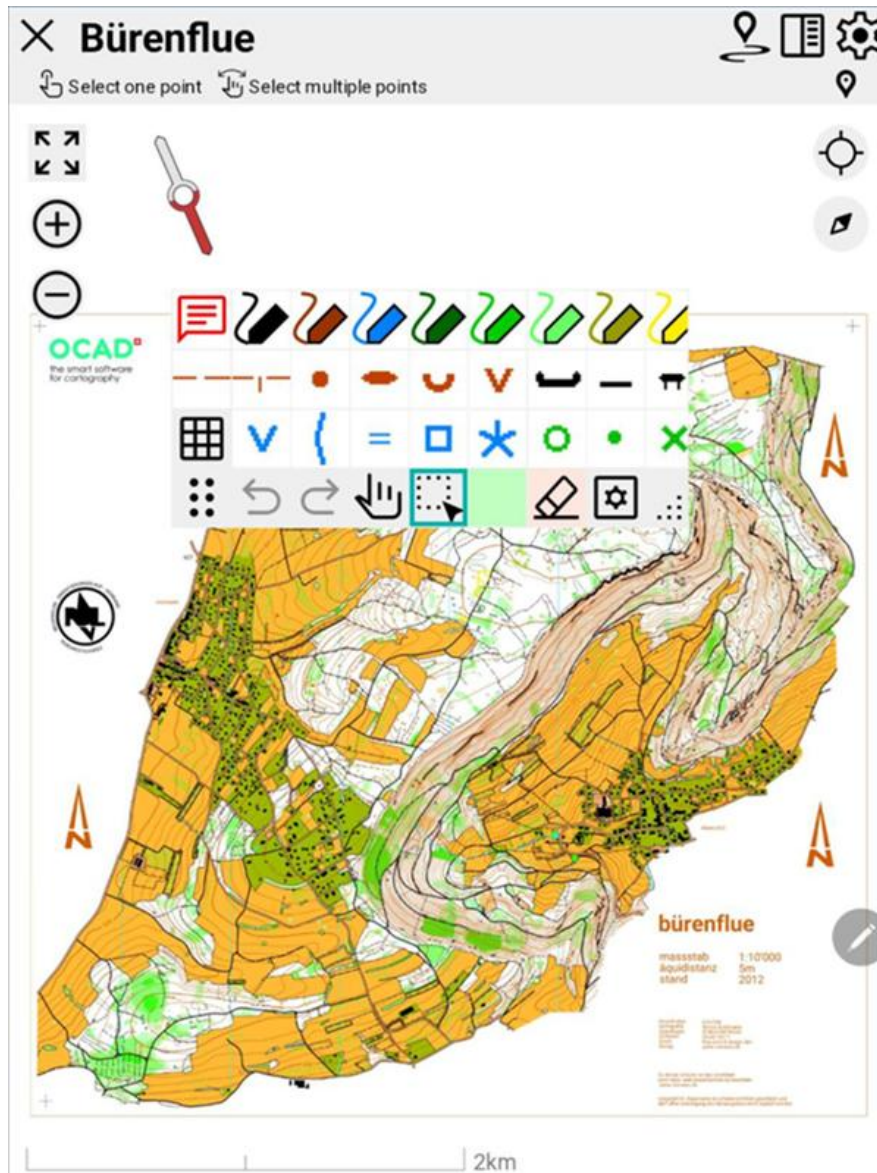
プロジェクトのライフサイクル

プロジェクトが OCAD デスクトップから OCAD クラウド転送にエクスポートされると、サーバー上に 7 日間保存されます。その後は自動的に削除されます。

しかし、プロジェクトがアプリと OCAD デスクトップの両方で引き続き使用されている可能性があります。ユーザは引き続きプロジェクトをアップロード（またはエクスポート）し、アプリから変更をインポートできます。

3. プロジェクトの編集

プロジェクトを開くと、プロジェクトページに地図と編集ツールが表示されます：



3.1 プロジェクトツールバー

× Bürenflue

重要： OCAD アプリには“**保存**”ボタンはありません。すべての変更はほぼ即座に内部ストレージに保存されます。

線や領域オブジェクトの描画など、保存する前にいくつかの操作を完了する必要があることに注意してください。

閉じる

プロジェクトは × ボタンで閉じることができます。

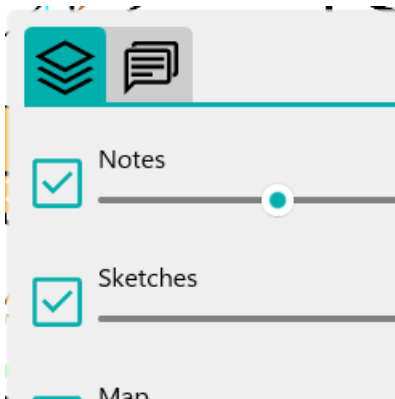
GPS 機能

GPS 機能  ボタンからアクセスできます。詳細は [GPS 機能](#) を参照してください。

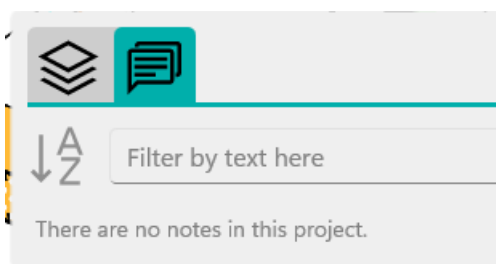
地図レイヤーとメモ

地図レイヤーとメモに関する情報を含むパネルを開くには、 ボタンをタップしてください。

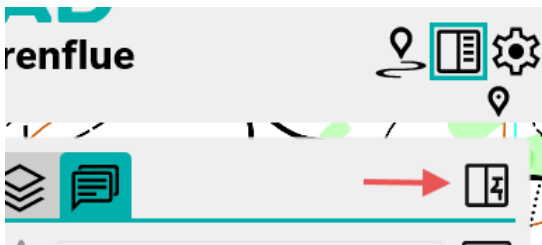
このパネルには2つのタブがあり、1つは[地図レイヤー](#)用です：



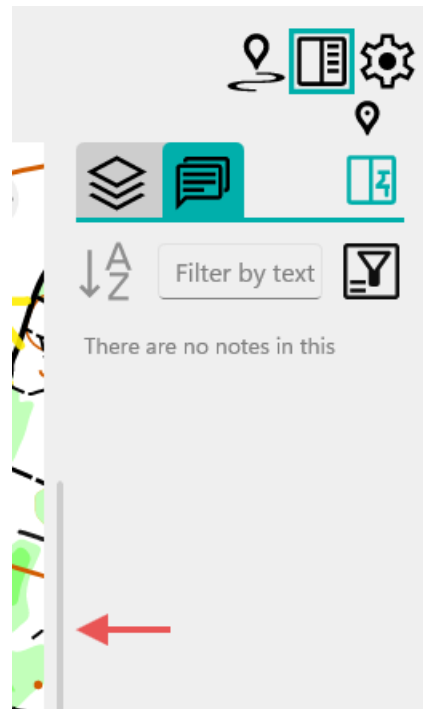
もう1つは[メモ](#)用です：



このパネルは、一時的な“ポップアップ”パネルとして動作することも、右側の  ボタンをタップして右側にドッキングすることもできます：



パネルがドッキングされている場合は、パネルの左端をドラッグして幅を調整できます。



設定

 ボタンをタップすると設定ページが表示されます。[設定](#)を参照してください。

3.2 ステータスバー

プロジェクトツールバーの下にはステータスバーがあり、次のようなさまざまな情報が表示されます：

- 現在アクティブなツールで利用できるスタイラス／指／マウス操作
- 選択されているオブジェクトの種類と数
- 1つのオブジェクトを選択した場合は、長さまたは表面積
- デバイスのGPSステータス

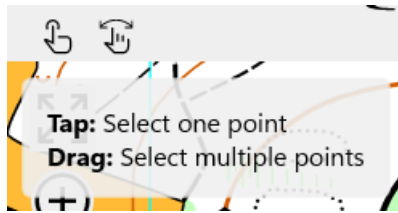


インタラクション

 アイコンは、現在アクティブなツールに対して地図上でタップ操作が可能なことを示し、関連するテキストで動作を説明します。

 アイコンは、現在アクティブなツールに対して地図上でスワイプ/ドラッグタイプの操作が可能なことを示し、関連するテキストで動作を説明します。

画面が狭すぎてテキストが表示されない場合は、アイコンをタップするとテキストが表示されます：



選択

地図上で複数のオブジェクトを選択すると、ステータスバーに選択内容の概要が表示されます。

選択されているオブジェクトの数に応じて、1つのオブジェクトまたは記号の種類ごとのカウントが表示されます：



この場合は、3つのこぶ 3 ●，1 本のトラ

ック 1 ---- と 5 つの緑色のエリア 5 ■ です。

ステータスバーの記号アイコンをタップすると、選択内容の詳細を示すパネルが表示されます。

パネル内の項目をタップすると、選択または選択解除できます。

この機能を使用して選択を再帰的にフィルタリングすることにより、ユーザは編集または削除する 1 つ以上の特定のオブジェクトにドリルダウンできます。

この例では、ユーザはリスト内の 2 番目と 4 番目の緑色の領域をタップし、現在選択されているため、地図上でも選択されています：

パネルの外側をタップすると、パネルは閉じますが、目的のオブジェクトは選択されたままになります。

以下の例では、ユーザは緑、黄、茶色の点線で囲まれた領域をすべて選択しています：



次に、ポップアップパネルを閉じて、緑の領



域 3 つと黄色の領域 2 つを選択します：

この手法により、ユーザはオブジェクトを簡単に繰り返しフィルタリングし、必要なオブジェクトだけを選択状態にすることができます。

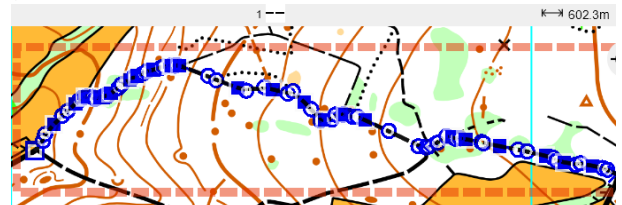
選択したオブジェクトの編集に関する詳細は、[“選択した地図オブジェクトの編集”](#)を参照してください。

小さなパネルを閉じるには、パネルの外側の地図をもう一度タップします。

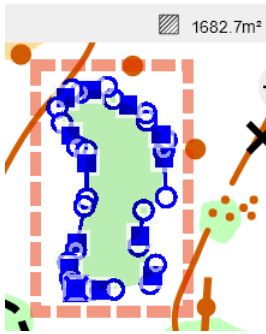
測定

オブジェクトを 1 つ選択すると、その長さまたは面積が表示されます。

長さ



面積



GPS ステータス

GPS アイコンは GPS 接続の状態を示します：
赤：接続なし、またはユーザが地図エリア外にいる。

オレンジ：精度が 20m を超える場合、接続状



態が悪い。

緑：精度が 20m 未満の場合、接続状態が良い。

アイコンをタップすると、接続状態（“切断”、“不良”、“良好”）を示すテキストメッセージが表示されます。

3.3 地図

メインツールバーとステータスバーの下には地図があります。

指の操作

すべてのツールにはさまざまな操作が用意されており、そのほとんどは、2 本指でピンチしてズームイン/ズームアウトするなど、直感的に操作できます。

この操作はすべてのツールで機能します。その他の操作については、それぞれのツールのセクションで説明します。

ボタン

地図の上部にはコンパスといくつかのボタンがあります：



ユーザのデバイスに GPS またはコンパスが搭載されていない場合、これらのボタンの一部が表示されない場合がありますのでご注意ください：

- 地図全体にズームする ボタン。デバイスの地図が北を向いていない場合には、このボタンは ボタンに変わります。
- ボタンはズームインに使用できます。

- ボタンはズームアウトに使用できません。
- 設定可能な ズームボタンで[“設定可能なズームボタン”](#)を参照してください。
- デバイスに GPS が搭載されている場合、 ボタンはユーザの位置に合わせて地図の中心を再調整します。ボタンをダブルタップすると、ボタンが に変わり、ユーザが移動しても地図が中央に表示されます。
- ボタンを使用すると、デバイス上で地図を北向きにすることができます。ダブルタップすると、ボタンが に変わり、ユーザが移動しても地図が北向きに表示されます。

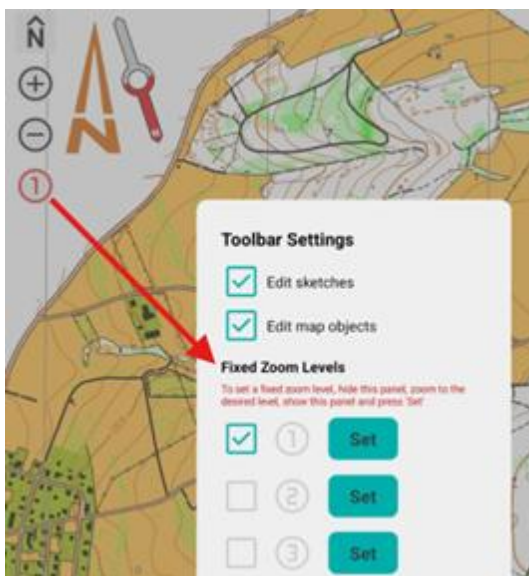
設定可能なズームボタン

アプリには、異なるズーム縮尺に設定できる 3 つの設定可能なボタンがあります。これらのボタンは特定の縮尺には設定されていません。

これらのズームボタンのいずれかをタップすると、アプリは指定された縮尺に切り替わり、地図を自動回転して自動的に中央に配置します（デバイスにコンパスと GPS が搭載されている場合）。

自動回転と自動中央配置機能は、[“設定”](#)でオフにすることができます。

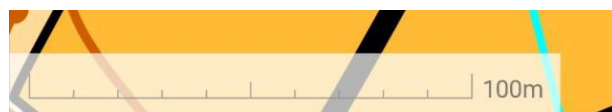
アプリを初めて起動すると、赤いズームボタン①が表示されます。これをタップすると、クイック設定パネルが開きます：



“設定”ボタンをタップすると、① ボタンを現在の地図縮尺に設定されます。左側のチェックボックスをタップすると、地図上のボタンが非表示になります。ユーザは最大3つのボタンに異なるズームレベルを設定できます。ボタンを別のズームレベルに変更するには、そのレベルにズームし、地図ツールバーの⚙️ ボタンを使用してパネルを開き、もう一度“設定”をタップします。

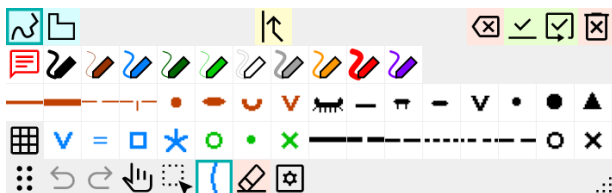
縮尺バー

地図の下部に縮尺バーがあります。



3.4 地図ツールバー

地図編集の中心となるのはツールバーです。ツールバーは、選択した編集ツールの種類に応じて、次のように表示されます：



ツールバーは、左下の⋮ ボタンを使って新しい場所に移動できます。アプリの下部にドッキングすることもできます。[\[設定\] - \[ツールバーの位置\]](#)を参照してください。

右下の⋮ ボタンを使用してサイズを変更できます。

ボタンのテーマ

いくつかのボタンには背景テーマがあります。

- 緑 – プロセスを完了するための確認ボタン。
- 赤 – プロセスをキャンセルしたり、何かを削除したりするための破壊的なボタン。
- 青 – ツールの動作を変更する動作 – アクティブにできるのは1つだけ、またはすべてアクティブにしない。

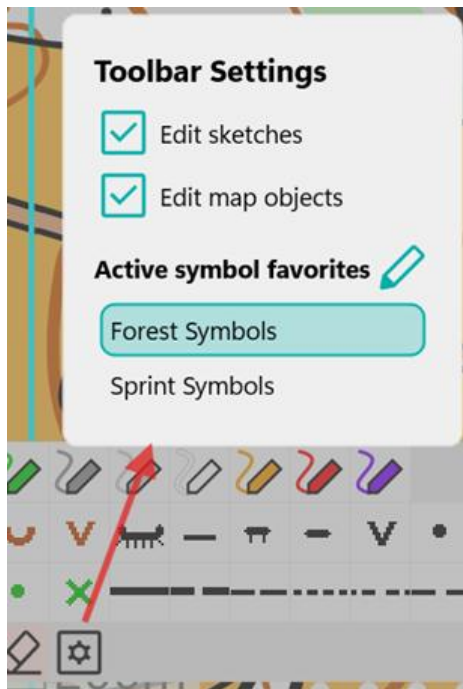
- 黄 – ツールの動作を変更するオプション – 何もアクティブにしないことも、1つまたは複数アクティブにすることもできます。

ボタンの行

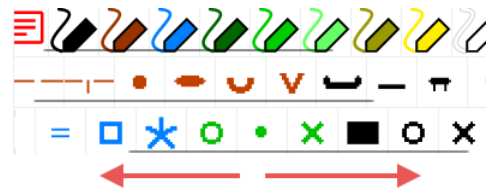
ツールバーには主に4種類の行があります。

- 一番上の行 – 現在アクティブなツールに適した動作、オプション、アクションが含まれます。
- メモ + スケッチ行 – 左側の📝 メモボタンとスケッチカラーボタンが含まれています。
- 記号ボタン – 上記の例では2行の記号があります。2行にない他の記号にアクセスするには、左側の📐 記号選択ボタンをタップします。
- 一番下の行には次のものが含まれます：
 - ⋮ ドラッグボタン。
 - ↶ [元に戻す] ボタンと ↷ [やり直し] ボタンについては、[“元に戻す - やり直し”](#)を参照してください。
 - 🖱️ パンボタン。
 - 上に記号の行がない場合、📐 記号選択ボタンがここに表示されることがあります。

-  選択ボタン。[ステータスバーの選択](#)と[選択した地図オブジェクトの編集](#)を参照してください。
-  描画ボタン。描画対象に応じてアイコンが変わります（この場合は、赤色で中幅のスケッチツールが表示されています）。アイコンは、スケッチの色と幅、または記号のいずれかになります。[新しい地図オブジェクトの描画](#)と[スケッチ - 描画](#)を参照してください。
-  スケッチ消去ボタンについては、[スケッチ-消去](#)を参照してください。
-  クイック設定ボタンについては、[地図ツールバー](#)を参照してください。
- 右下の  サイズ変更ボタン。



画面デバイスの画面幅がすべてのボタンを表示できない場合は、「スケッチ／メモ」行と「記号」行を水平方向にスクロールできます。



その他の設定オプションについては、「設定 - 描画」および「設定 - 記号のお気に入り」も参照してください。

クイック設定ボタン

 クイック設定ボタンをクリックすると、以下のオプションを素早く実行できるパネルが表示されます：

- スケッチ編集のオン／オフ - スケッチツールと消去ツールがすべて非表示になります。
 - 地図オブジェクトの編集のオン／オフ - 地図オブジェクトの編集ツールがすべて非表示になります。*
 - [“設定可能なズームボタン”](#)を設定します。
 - 記号ツールバーの行を別の記号のお気に入りに変更します。詳しくは、[\[設定 n\] > \[記号のお気に入り\]](#)をご覧ください。
 -  ボタンをタップすると、[設定] ページの [記号のお気に入り] タブに移動します。
- * 現在のプロジェクトが [地図オブジェクトの編集権限なし](#) でエクスポートされた場合、ここでの [地図オブジェクトの編集](#) オプションはオフになり、無効になります。

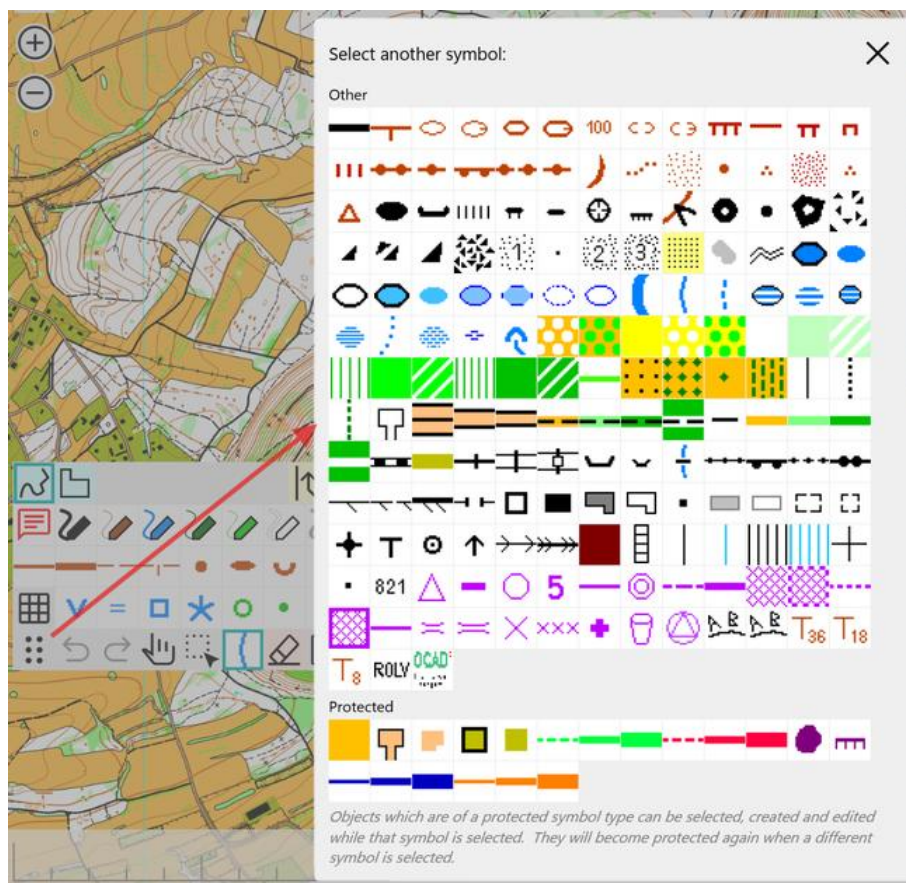
1.5 新規地図オブジェクトの描画

点、線、面の3種類の記号があり、それぞれ動作、オプション、アクションボタンが異なります：

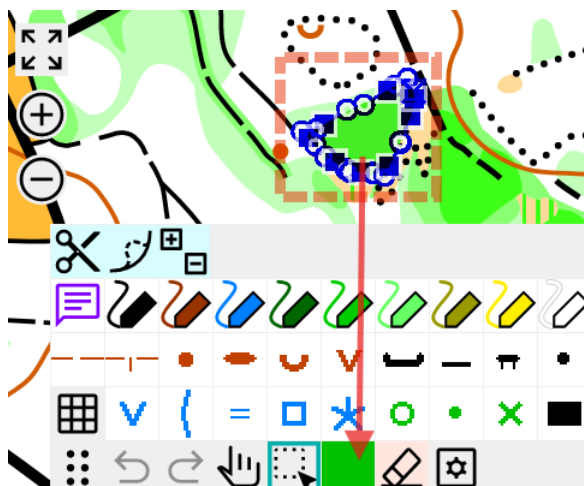


描画を開始するには、いずれかの記号をタップします。この記号はアクティブな描画ツールとなり、下部のツールバーに表示されます。

ユーザの記号リストにない別の記号を選択するには、 記号選択ボタンをタップして、他のすべての記号を含むパネルを表示します：



記号を変更する別の方法として、希望する記号タイプの地図オブジェクトを選択することもできます。ただし、この方法ではアプリ内のアクティブなツールが描画ツールに変更されるわけではありません。



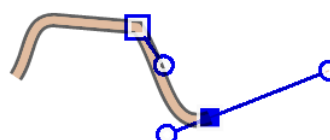
上記の例では、緑色のオブジェクトが選択されているため、描画記号タイプが緑色の記号に変更されています。選択ツールはまだアクティブです。緑色の記号の描画を開始するには、ツールバーの緑色の記号描画ボタンをタップしてください。

点状オブジェクト

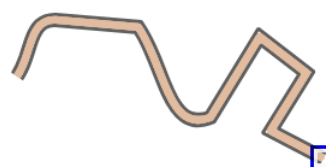
点状オブジェクトは、画面を1回タップするだけで作成できます。点状オブジェクトが方向性をもって配置できる場合は、オブジェクトをタップしてドラッグし、方向を調整します。ドラッグを放すと、オブジェクトが作成されます。

線状および面状オブジェクト

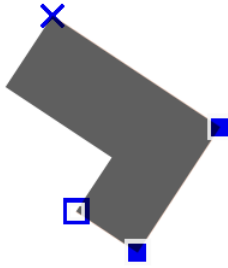
線状オブジェクトを描画する際のデフォルトの動作は、“曲線と直線の動作”  です。



ユーザがスタイラス／指／マウスでタップしてドラッグするとベジェ曲線が作成されますが、タップして放し、別の場所で再度タップすると、タップした点の間に直線が作成されます。



長方形  の動作も使用できます：



Backspace  ボタンを使用すると、最後に追加したポイントを削除できます。

ジオメトリの再利用 - 追従

曲線の動作を使用する場合、追従オプション  を使用することで、既存の1つまたは複数の線状／面状オブジェクトのジオメトリを追従させることができます。

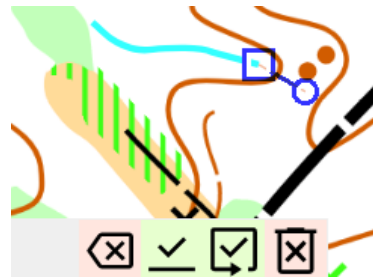
次の例では、緑の面状オブジェクトは、北のトラックに沿って描画され、次に黄色のふちを通り、白い森を横切り、破線のトラックに沿って描画されます。

指／スタイラス／マウスで線を描いているとき、その線上に水色のカーソルが表示されます。この青い円は Android デバイスでのみ表示されます：



終了または破棄

線状オブジェクトまたは面状オブジェクトの描画を終了するには、“終了”  ボタンまたは“終了して閉じる”  ボタンをタップします：



これにより、オブジェクトがデバイスに保存されます。面状オブジェクトには“終了して閉じる”ボタンのみがあることに注意してください。

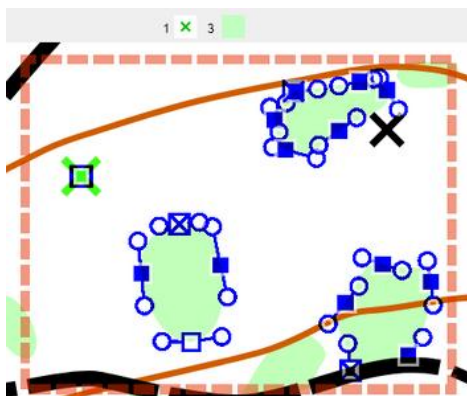
ユーザが終了する前に新しいオブジェクト全体を破棄したい場合は、 ボタンをタップします。

オブジェクトプレビュー

描画中のオブジェクトプレビューは、Android および専用スタイラスを使用した場合にのみ機能し、iOS では機能しません。

3.6 選択した地図オブジェクトの編集

選択ツール  がアクティブな場合、ユーザは1つまたは複数のオブジェクトを同時に選択できます。



【ステータスバー】-【選択】に記載のように、上部のステータスバーには選択されているオブジェクトに関する情報が表示されます。

地図オブジェクトの選択解除

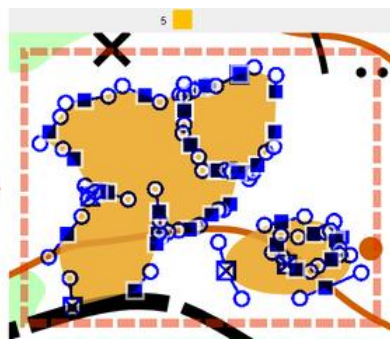
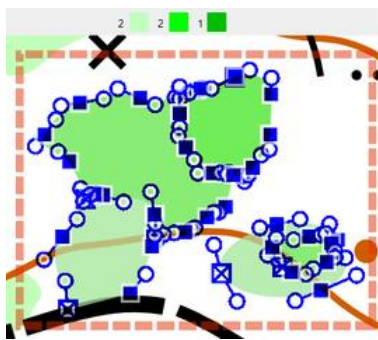
地図オブジェクトの選択を解除するには、次のいずれか：

- 選択したオブジェクトが表示されている領域の外側をタップします。
- 選択ツール  をもう一度タップします。

編集アクション

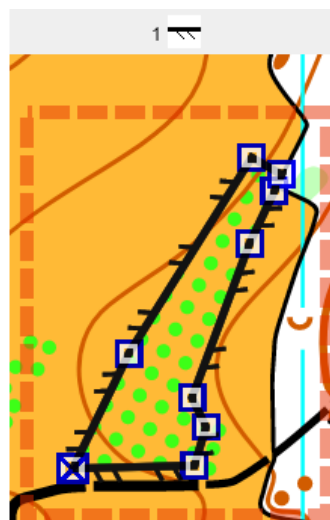
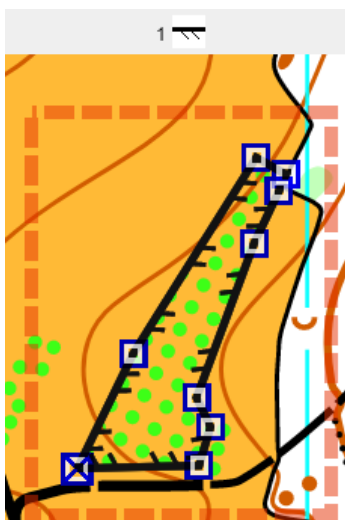
オブジェクトが選択されている場合：

- ツールバーの削除ボタン  を使用して、オブジェクトを削除できます。
- 記号変更  アクションを使用して、異なる記号タイプのオブジェクトに変換できます：



点状オブジェクトは点状オブジェクトにのみ変換可能ですが、線状オブジェクトと面状オブジェクトは線状オブジェクトまたは面状オブジェクトに変換できます。ここでは、3つの異なる緑色の記号の5つのオブジェクトがオレンジ色の記号に変更されています。

- 選択した記号に次のような属性がある場合は、側／方向逆転  アクションを使用して側または方向を変更できます：



編集、切り取り、形状変更、ポイントの追加/削除などの選択ツールを使用する場合、指／スタイラス／マウスにはさまざまな動作があ

ります。これらについては以下で説明します。

選択動作の編集

重要： このデフォルトの編集動作にはボタンがありません。他の動作が選択されていない場合にのみ有効になります。

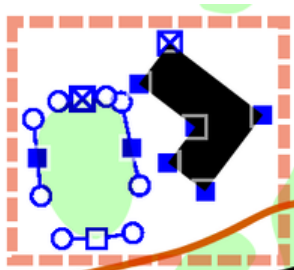


この動作を使用すると、ユーザは以下の操作を実行できます。

- オブジェクトを移動する。
- 方向性のある点状オブジェクトを回転する。
- オブジェクトのジオメトリを編集する。

オブジェクトの移動

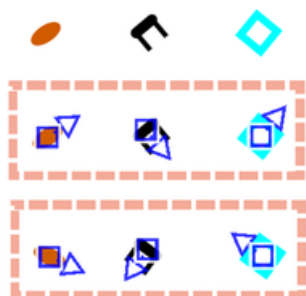
選択したすべてのオブジェクトを移動するには、破線の選択した四角形をタップしてドラッグします。



方向性点状オブジェクトの回転

方向性点状オブジェクトには、点に小さな選択矢印が表示されます。この矢印をタップしてポイントの周囲をドラッグすることで、方向を変更できます。

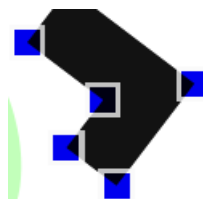
この例では、3つの方向性点状オブジェクトが選択され、それぞれが個別に回転されます：



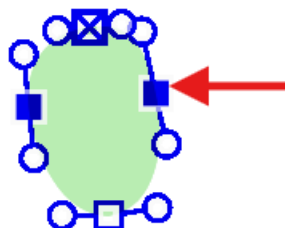
オブジェクトの形状の編集

オブジェクトの形状を編集するには、ユーザは次のいずれかをタップしてドラッグします：

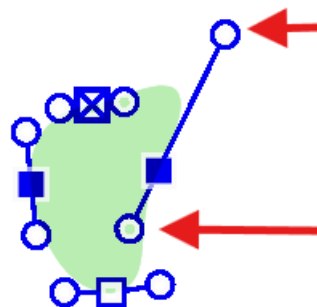
- 長方形オブジェクトの青い四角形の角の頂点：



- 曲線オブジェクトの青い四角形の辺のハンドルでオブジェクトのサイズを変更：



- 曲線オブジェクトの青い円のベジェハンドルで辺の曲率を変更：

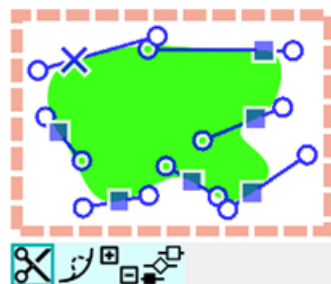


選択範囲の切断動作

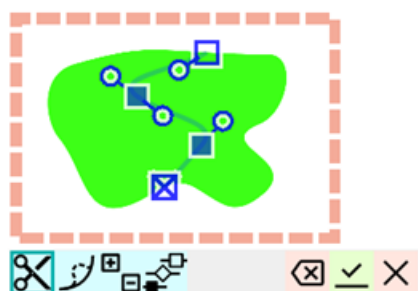
オブジェクトを選択して、この✂️動作を有効にします。線も面も切断できます。

線を切断すると、切断箇所の一部が除去されます。切断箇所が中央にある場合、オブジェクトが2つに分割されることがあります。あるいは、切断箇所がどちらかの端に近い場合は、単に切り取られるだけになります。

面の切断方法を以下に示します。



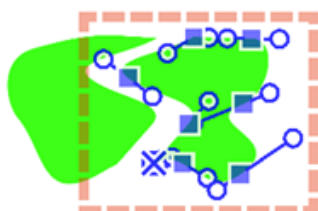
オブジェクトの縁をタップして、オブジェクトを横切るように切断線を描画します：



切断を完了するには、終了 ボタンをタップしてください。いつでも、最後の切断点は ボタンを使用して削除したり、 ボタンを使用して中止したりできます。ステータスバーに表示されているように、現在2つのオブジェクトが選択されています：



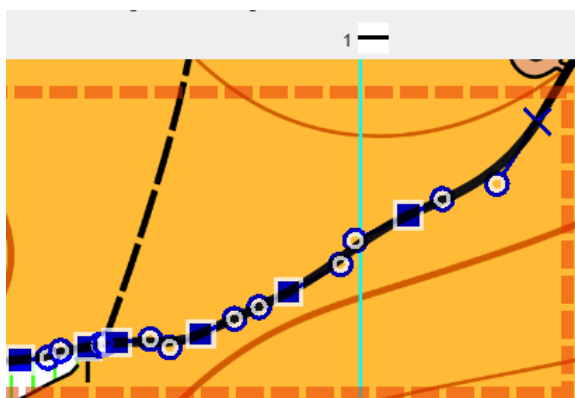
どちらのパーツも個別に移動したり、変更したりできます：



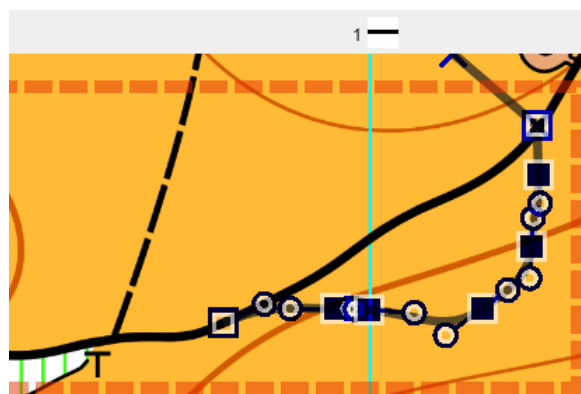
ただし、現在の実装ではオブジェクトを2つのパーツに分割することしかできません。穴を開ける機能は未だ実装されていません。

選択範囲の形状変更動作

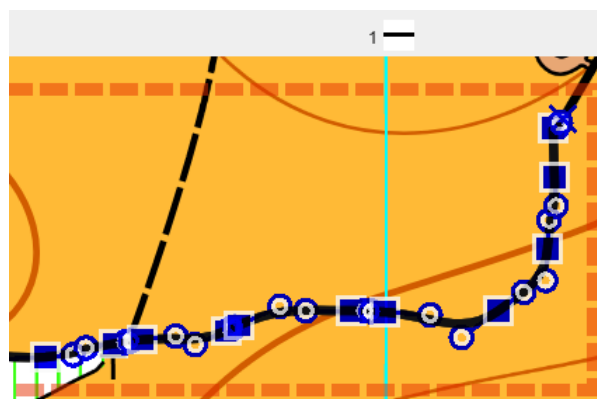
既存オブジェクトの形状を変更するには、形状変更動作を使用します。オブジェクトを選択し、 動作ボタンをタップしてください：



オブジェクトの縁から始めて、新しい形状を描き、再び線上で終わるようにします：



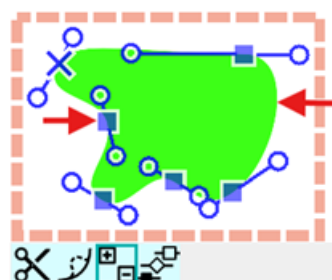
形状変更した地図オブジェクトを終了し保存するには、終了 ボタンをタップしてください：



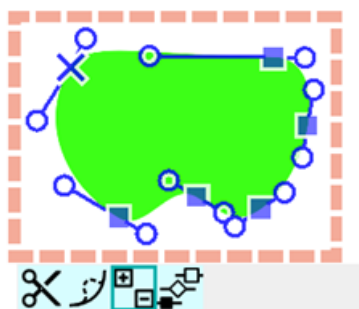
オブジェクトは1つだけとなりましたが、新しい形状になっています。

点の追加と削除の動作

形状を表す点は、“点の追加／削除”動作 ボタンを使用して追加または削除できます。オブジェクトを選択してください：



左側の点をタップすると、その点が削除されます。右側の縁をタップすると、新しいポイントが作成されます：

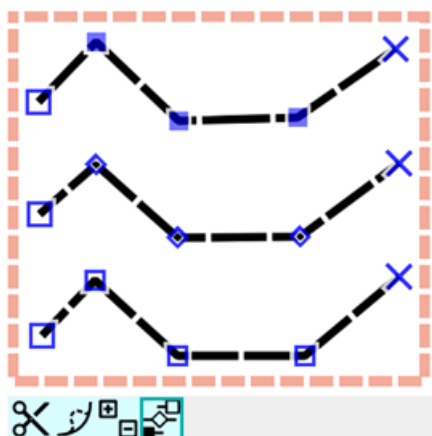


ベジェ制御点（青い丸）は削除できないことに注意してください。

頂点の種類の変更

頂点には3つの異なるモードがあり、それによって線上の破線やその他の要素の配置が変わります。頂点の種類の変更が選択されている場合、頂点をタップすると、頂点の種類が3つの異なる値間で切り替わります：

-  ノーマル点
-  ダッシュ点
-  コーナー点



頂点に関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。

面状オブジェクト内の穴の編集

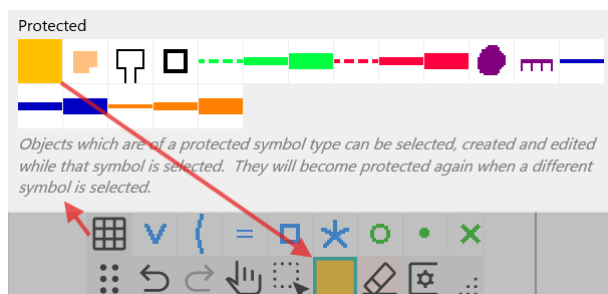
現時点では、エリア内に穴を追加または削除するための専用ツールはありませんが、既存の穴を構成する点を移動、追加、または削除することは可能です。

 穴を構成するすべての点を削除することで、穴を削除できます。または、穴に点を追加／編集することで、穴の形状を変更したり、拡大したりすることもできます。

保護された地図オブジェクトの編集

保護された地図オブジェクトは、記号タイプが保護されているため、通常は選択できません。ただし、ユーザは以下のいずれかの方法で記号を編集できます：

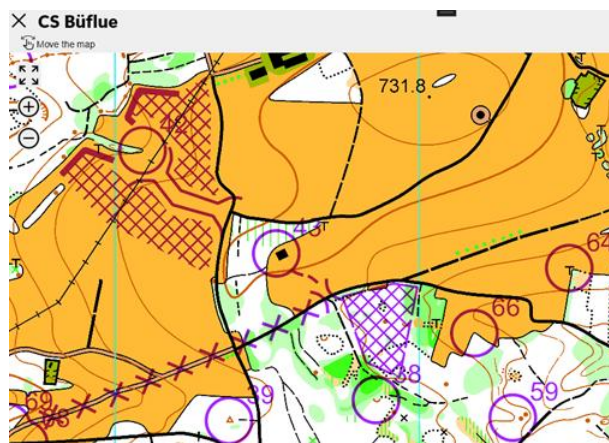
- 保護された記号を記号のお気に入り内の別の「セット」に移動する（多数のオブジェクトを変更する場合に推奨）
- 記号の選択を使用して記号を選択し、選択ツールに切り替える。保護された記号がアクティブな記号である間は、その記号を選択できるだけでなく、ユーザはその記号タイプの新しい地図オブジェクトを作成することもできます。
 - 保護された記号を [記号お気に入り](#) 内の別の“セット”に移動する（多数のオブジェクトを変更する場合に推奨）
 - 記号セレクタ  を使用して記号を選択し、選択ツール  に切り替える。保護された記号がアクティブな記号である間は、その記号を選択できるだけでなく、ユーザはその記号タイプの新しい地図オブジェクトを作成することもできます：



コース設定オブジェクト

コース設定プロジェクトはアプリから開くことができます。現在、コース設定オブジェクトを編集する機能はなく、コントロール番号はコントロール円の北東の固定位置に描画されます。

このアプリは、OCAD Sketch アプリと同様に、競技前にコントロールサイトを確認するための補助ツールとして使用できます。今後、コース設定をサポートする機能がさらに追加される予定です。



3.7 最小距離

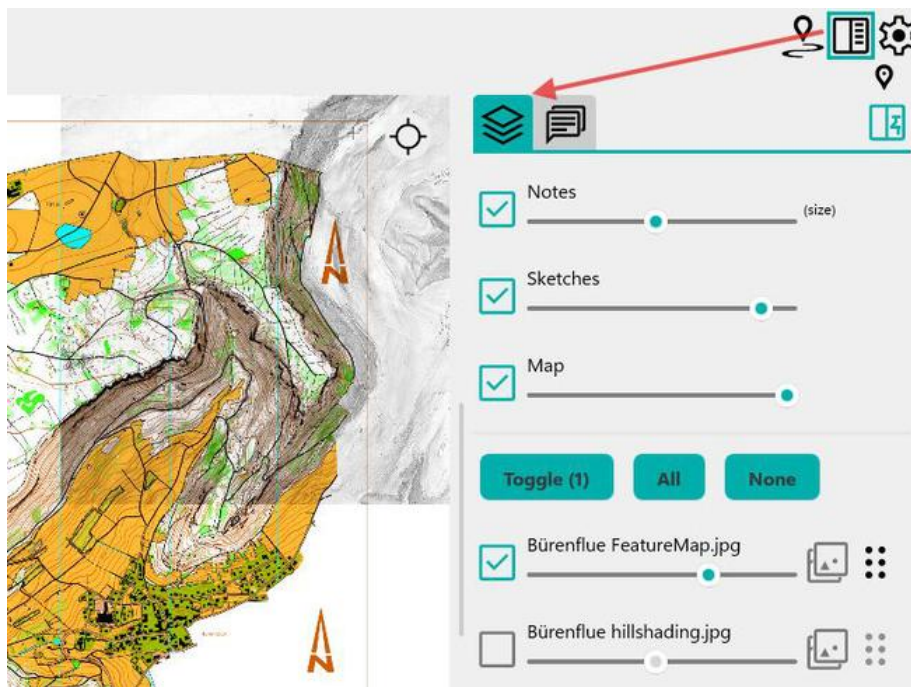
現在、地図上の特徴物間の最小距離を表示するための特定のツールや方法はありません。

将来的にはそのような機能を追加したいと考えています。

3.8 地図のレイヤー

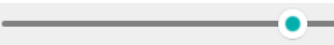
アプリ内のさまざまなレイヤーの表示／非表示、不透明度、透明度を操作するには、右側

の詳細パネルを開き、左側のレイヤー  タブを選択します。



このリストにあるレイヤーはリストの順序で描画されるため、まず下絵地図が画面に描画され、次に地図、最後にスケッチとメモが描画されます。描画順序を変更できるのは下絵地図のみです。

各レイヤーの可視性は、チェックボックス ☒ をタップすることで変更できます。

スライダー  は各レイヤーの不透明度を調整するために使用します。ただし、メモのスライダーは地図上のメモアイコンのサイズを調整します。

背景レイヤーの透明度は  ボタンでオン／オフを切り替えることができます。

背景レイヤーの順序は、ドラッグボタン  を使って調整できます。パネルがドッキングされて幅が狭い場合、背景レイヤーの名前はリ

スト内で重複しないように省略表示されます。

省略されたレイヤー名の実際の名前を確認するには、そのレイヤーをタップすると、フルネームが短いメッセージで表示されます。

これらの **All** **None** ボタンは、すべての背景レイヤーを一度にオン／オフします。

この **Toggle (2)** ボタンは現在選択されているレイヤーのオン／オフを切り替えます。アプリは現在選択されているレイヤーを記憶し、チェックボックスをタップするか、“すべて”または“なし”を選択した場合にのみ更新されます。

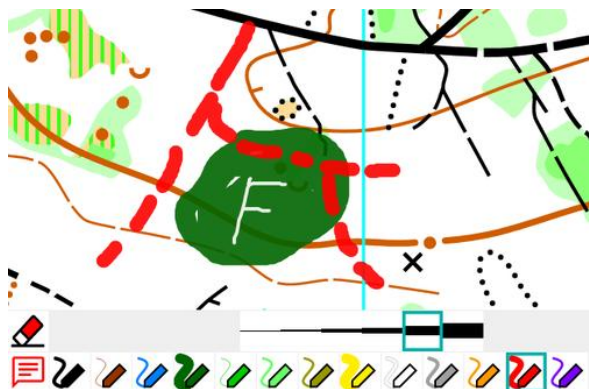
ボタンに表示されている数字は、トグルが操作しているレイヤーの数を示しています。

3.9 スケッチ

スケッチとは、地図上に重ねて描画するラスター画像です。線や面といったオブジェクトをスケッチで描画する方が、小型デバイスで地図オブジェクトを直接描画するよりも速く、便利です。それらはOCAD デスクトップにも転送されます。

描画

このアプリには、スケッチを作成するためのさまざまな色と幅のスケッチが用意されています。



各色は、その色で使用された幅を常に記憶しているため、ユーザは色を変更するたびに幅を変更する必要はありません。各色の幅は、ボタンアイコンにも表示されます（例えば、上の画像にある太い濃い緑色など）。使用されていない色のフィルタリングと並べ替えは、“[設定](#)”-“[描画](#)”-“[スケッチ](#)”で行うことができます。

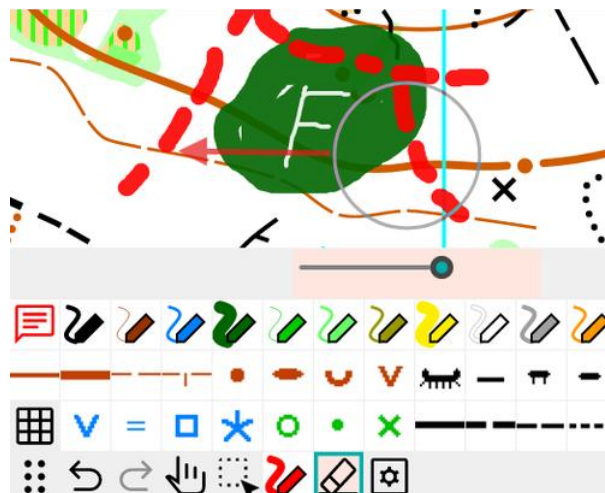
すべてのスケッチの可視性と不透明度は、[地図レイヤーパネル](#)で調整できます。

消去

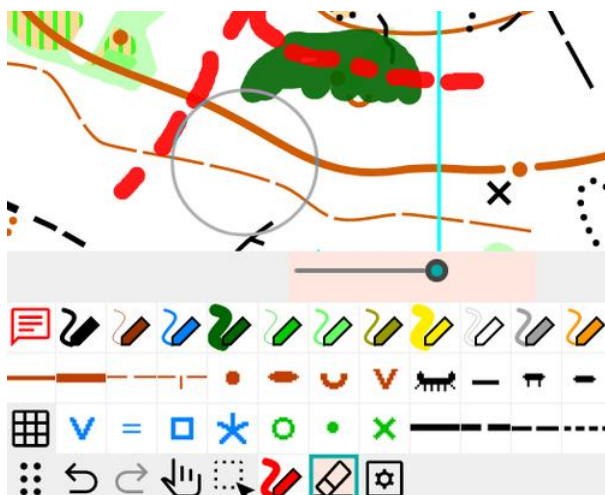
消しゴムツール  は、スケッチを削除するために使用できます。消しゴムのサイズは、地図ツールバー上部のスライダー

 で調整できます。

消しゴムは丸い形をしており、ユーザが地図上で消しゴムをタップしてドラッグすると、スケッチが消去されます。



その結果、すべてのスケッチが削除されました。

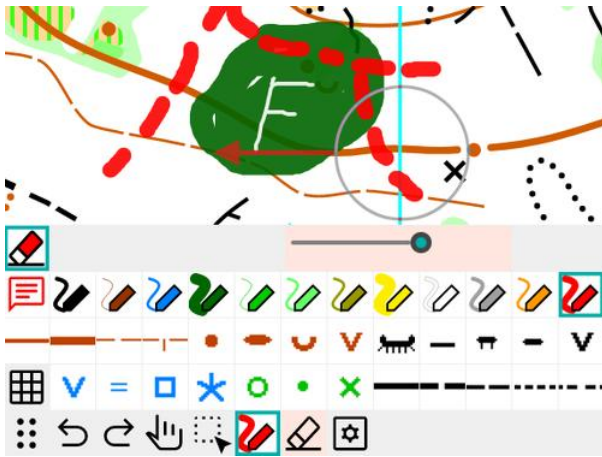


単色の消去

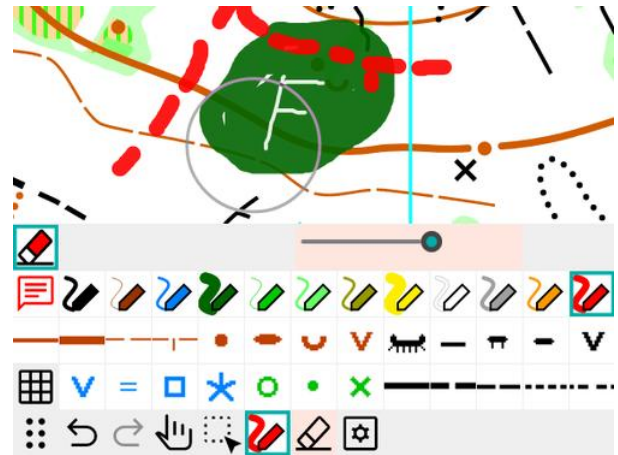
単色消しゴムを使用すると、特定の色のスケッチのみを消去できます。スケッチの色を選択すると、地図ツールバーの左上に“単色消しゴム”動作ボタン  が表示されます。

別のスケッチカラーをタップすると、スケッチ描画に戻ります。

この例では、赤色のスケッチカラーが選択され、“単色消去”の動作が有効になっています：



地図上をドラッグすると、赤い線だけが消去されます：



濃い緑と白のスケッチが残っています。

3.10 メモ

メモは、地図上に配置されるスケッチのような一時的なオブジェクトです。テキスト領域と色が割り当てられています。また、OCAD デスクトップにも転送されます。

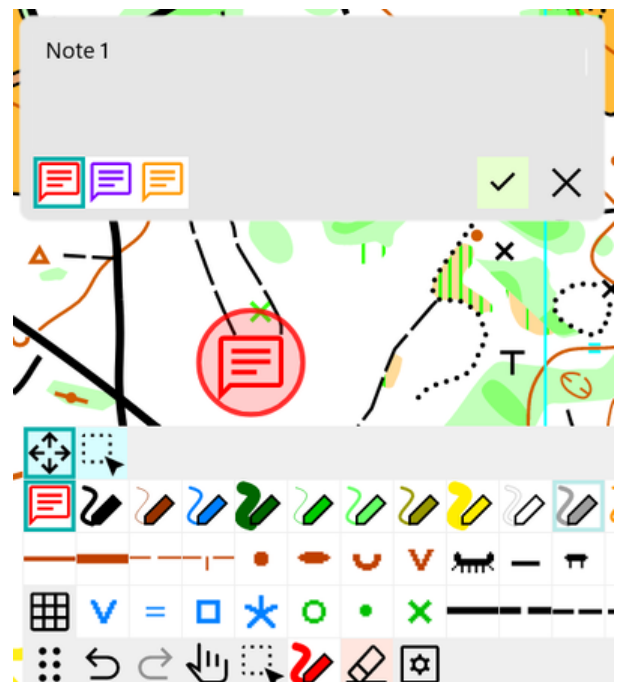
新しいメモの作成

メモツールボタンをタップしてメモツールを起動します。メモツールには、作成、移動、選択の3つの動作があります：



メモを追加する  動作ボタンが表示されるはずですが。

地図をタップすると、地図上のその位置にメモが作成されます：



メモは地図上にアイコンで表示されます。同時に、地図の上にメモ編集パネルが表示されます。

テキストエディタには、メモ1、2、3などの固有のデフォルトテキストが含まれています。

テキストエディタの下にある  ボタンを使用して、他の色を選択することで、ノートの色を変更できます。なお、[設定 - 描画 - メモ](#) で色のリストを変更することで、他の色を追加することもできます。

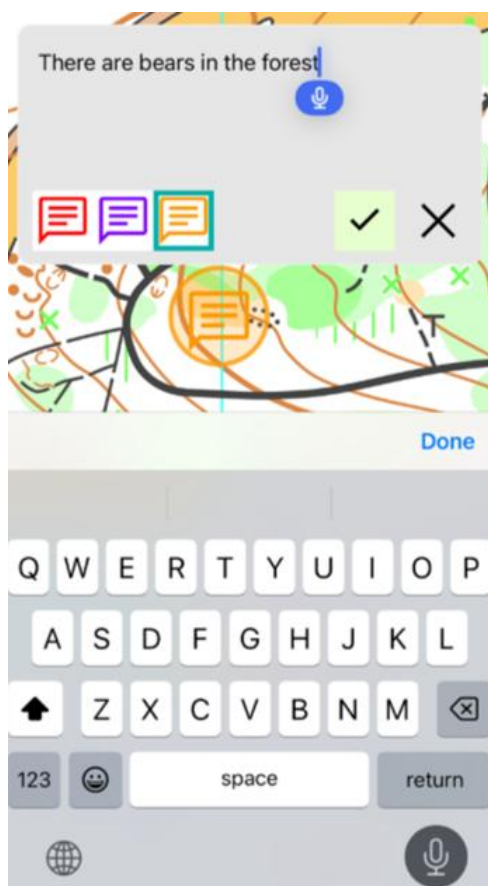
色の右側にある ... ボタンをタップすると、[設定 - 描画 - メモ](#)に移動します。

ユーザがメモの作成を開始すると、メモ作成動作ボタンが動作  ボタンに変わり、ユーザが現在編集中のメモの位置を変更できるようになります。

メモを保存するには、テキストエディタの下にある  ボタンをタップしてください。

メモを保存せずに破棄するには、テキストエディタの下にある  ボタンをタップします。

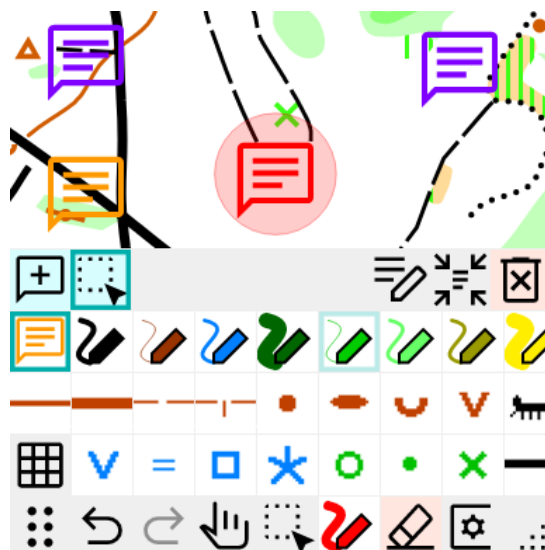
ユーザのデバイスが音声認識  技術をサポートしている場合、ユーザは音声テキストを使用してメモを録音できます：



重要： ユーザがメモを確認／保存する前にツールを変更した場合、メモは自動的に保存されます。このメモが不要な場合は、“取り消し”をタップするか、削除することができます。

メモの選択

メモツールがアクティブな場合、もう一つの動作として  ボタンが表示されます。ユーザは、地図上で四角形をタップまたはドラッグすることで、1つまたは複数のメモを選択できます：



メモを選択すると、ユーザは以下の操作を行うことができます。

- メモ編集ボタン  を使用してメモの編集を開始できます（このボタンは、メモが1つだけ選択されている場合にのみ表示されます）。
- ズームボタン  を使用して、地図上で選択したメモにズームします。
- 削除ボタン  を使用して、選択したメモを削除します。

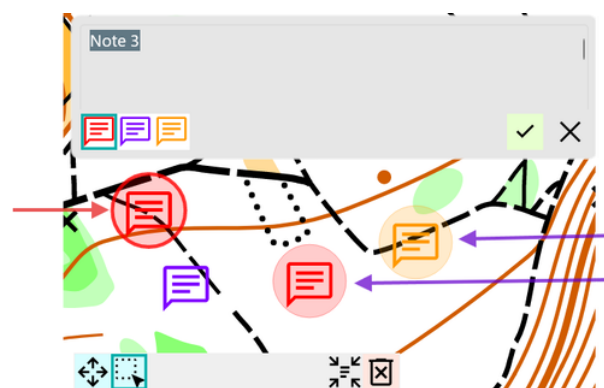
すべてのメモの選択を解除するには、地図上の別の場所をタップしてください。

メモアイコン

メモアイコンは、以下の状態に応じてわずかに変化します：

- 編集時（赤色の矢印）
- 選択中（紫色の矢印2つ）
- 選択も編集もされていない（もう1つの紫色のメモ）

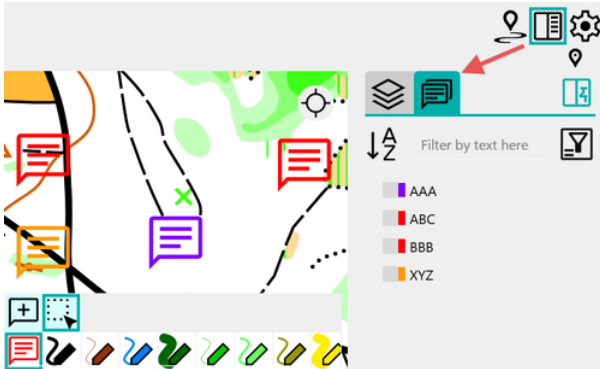
現在編集中のメモは常に太い枠線で囲まれ、網掛けされています。選択中のメモは網掛け



と細い枠線が表示されます。

メモのリスト

アプリ右側の詳細パネルには、メモ一覧やその他の並べ替え・絞り込み機能を含むメモタブがあります。



リストと地図上のメモの選択は同期されているため、リストでメモを選択すると地図上でも選択され、その逆も同様です。

リストから1つ以上のメモを選択した後、ユーザは地図ツールバーのズームボタンを使用して、地図上でそれらのメモを見つけることができます。地図ツールバーのボタンをクリックすると、選択したメモが削除されます。

リストに表示される項目はメモの最初の行のみで、残りのテキストを表示するにはメモを編集する必要があります。

リスト内のメモをダブルタップすると、以下の操作が行われます：

- そのメモにズームインします。
- そのメモのエディターが起動し、テキストや色を変更できます。その後、以下の操作が可能です。
-  ボタンを使用して変更を保存します。
-  ボタンを使用して変更せずに破棄します。

メモの並べ替え

ユーザは並べ替えボタンを使ってリスト内のメモの並び順を変更できます。このボタンには4つの切り替え可能な機能があり、タップすると切り替わります。

- アルファベット順（降順）
- アルファベット順（昇順）
- 更新日順（降順）
- 更新日順（昇順）

次のセクションの画像では、並べ替えボタンの様々なバリエーションをご覧いただけます。

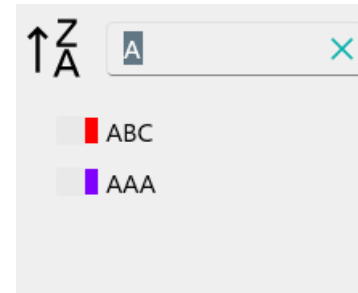
メモのフィルタリング

メモのリストは、以下のいずれかの条件でフィルタリングできます：

- テキスト
- 現在の地図ビューポートに表示されているメモ

フィルタはリストからメモを非表示にするだけで、地図からは非表示にしませんのでご注意ください。

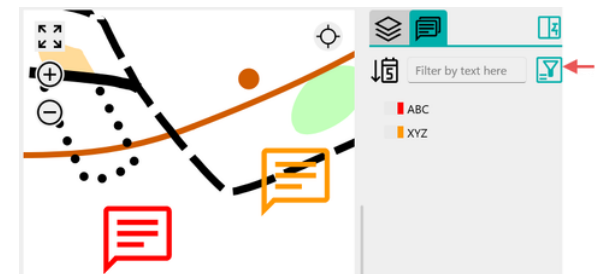
フィルタ領域にテキストを入力すると、リストが絞り込まれます：



 ボタンをタップすると、テキストフィルタが解除されます。

ビューポートフィルタボタンをオンにすると、地図上に現在表示されているメモのみが表示されます：

この場合、AAA と BBB は地図の表示領域外にあるため、リストには表示されません。地図のズームイン／ズームアウトやパン操作を行うと、リストにあるメモを表示／非表示に切り替わります。

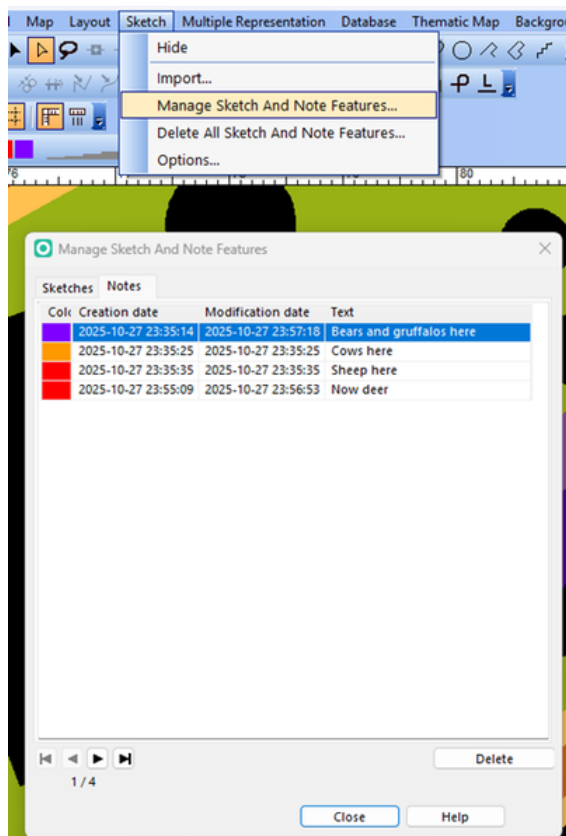


削除

1つまたは複数のメモを削除する際、削除操作は取り消し可能なため、警告は表示されません。詳細は[元に戻す／やり直し](#)を参照してください。

OCAD デスクトップ上のメモ

OCAD デスクトップ上でメモを表示するには、スケッチと同様の方法でインポートする必要があります。インポート後、[スケッチ](#)メニューから管理できます。



3.11 元に戻す – やり直し

「元に戻す」 ボタンと「やり直し」 ボタンを使用すると、操作を元に戻したり、直前に元に戻した操作をやり直したりできます。すべての編集操作は、単一のアトミック（不可分）操作として「元に戻す」および「やり直し」が可能です。アトミック操作は、1つまたは複数のオブジェクトに同時に影響を与えます。これらの操作の例を以下に示します。例文の最後に「確認」と記載されている場合、緑色の「confirm（確認）」ボタンをタップすると元に戻す操作が実行されます。

- 点状地図オブジェクトの作成。
- 線状または面状地図オブジェクトの作成 - 確認。
- 異なる記号タイプの複数の地図オブジェクトの削除。
- 複数のオブジェクトを同時に移動。
- 1つのオブジェクトの切断 - 確認。
- 1つのオブジェクトの形状を変更 - 確認。
- 単一のジオメトリ点の追加または削除。
- 複数のオブジェクトの方向または縁を同時に変更。
- 異なる記号タイプの複数のオブジェクトを1つの記号タイプに変更。

- 単独のスケッチの描画。
- 地図上で一度びドラッグによる複数のスケッチの消去。
- 単色のスケッチの消去。
- メモの作成 - 確認。
- メモの編集 - テキスト、色、位置の変更を含む - 確認。
- 複数のメモの同時削除。
- GPS からのスケッチまたは線状／面状地図オブジェクトの作成 - 確認。

元に戻せないいくつかの例：

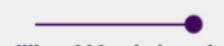
- 線状／面状オブジェクトの作成、切断、または形状の変更の際にバックスペースキーをタップ。
- メモの並べ替えとフィルタリング。
- パン操作やズーム操作、または固定ズームレベルの設定。
- ステータスバーの機能を使用した地図オブジェクトのフィルタリング。
- 背景レイヤータブの内容の変更。
- クイック設定パネルの設定の変更。
- 設定ページおよび設定タブの設定変更。

3.12 GPS 機能

ユーザのデバイスに GPS 機能が搭載されている場合、スケッチと地図オブジェクトの両方を GPS データから生成できます。まず、GPS ボタンを使って GPS パネルを開きます：



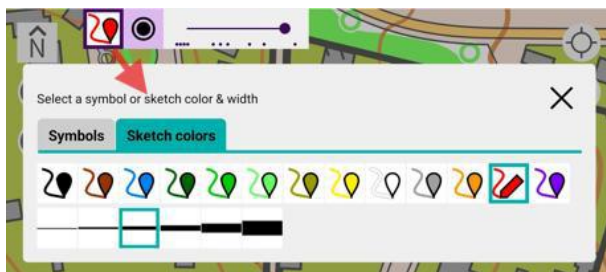
このパネルには以下のボタンがあります：

- スケッチと記号 – 線／面選択  ボタン
- 線状／面状オブジェクト、記録開始／停止  ボタン
- 記録一時停止  ボタン
- スムージング  スライダー
- 記号生成時に曲線モード  ボタン
- 記号生成時に直線モード  ボタン
- スケッチまたは線状記号生成時の終了  ボタン
- 線状／面状記号生成時の終了-閉じる  ボタン
- 破棄  ボタン

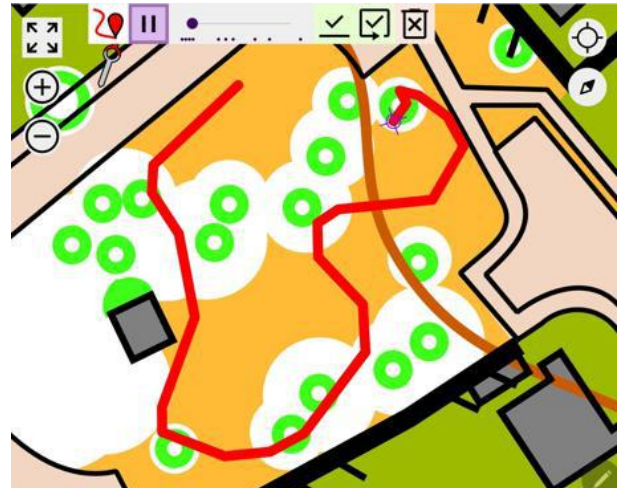
スケッチの記録

記録を開始するには、デバイスが GPS を受信し、位置情報がオンになっていることを確認してください。地図上に紫色の十字が表示され、現在地が示されます。📍 ボタンを使用して、地図の中心を現在地に合わせてください。

選択  ボタンをタップします：



希望の色と線の太さを選択し、✕ をタップして選択パネルを閉じます。動き始めると、ユーザが少なくとも 1~2 メートル移動すると GPS スケッチの生成が開始されます：



記録中はボタンのアイコンが一時停止マーク  に変わり、ボタンの枠線が点滅して記録中であることを示します。

上のスライダーが左の位置にあるということは、平滑化の度合いが低く、より多くの点が表示されることを意味します。スライダーを右に動かすと、多くの中間点が削除されます；



スライダーは描画中でも調整可能です。ユーザは録画中に色や線の太さを変更することもできます。



描画を終了するには、上記と同様に終了  または終了し閉じる  ボタンをタップしてください。これでオブジェクトが保存されます。元に戻すをタップすると、スケッチが削除され、レコーダに再読み込みされます。その後、ユーザは記録を再開できます。これは、GPS-終了の操作が最後に実行された場合にのみ機能します。

スケッチを描画する際には、ベジェ曲線のフィッティングは行われず、点の削減のみが行われます。

地図オブジェクトの記録

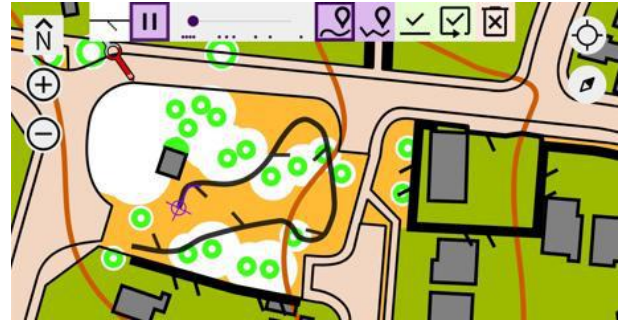
セレクトを再度開き、記号タブに切り替えると、線状または面状記号のみが表示されます：



希望する記号タイプを選択してください。スケッチの作成と同様に、記録中はいつでも記号タイプを変更できます。

記録を開始します。スライダーを左に動かすと、作成に使用されるポイント数が増えま

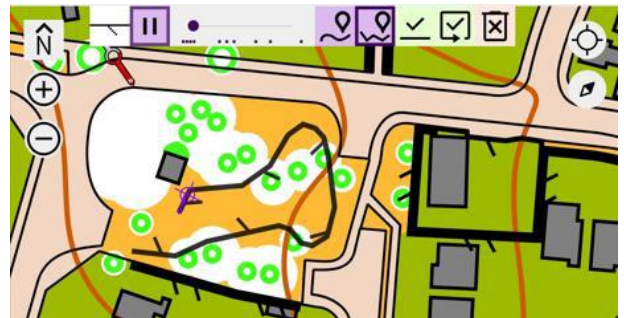
す。曲線モードが有効になっているため、線は曲線になり、滑らかになります。



スライダーを右に動かすと、曲線を作成するために使用される点の数が少なくなります：



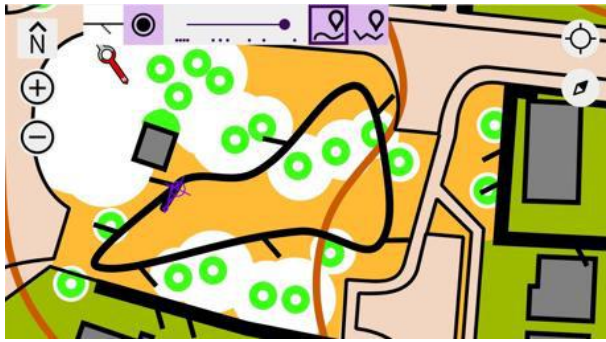
より多くのポイントと直線モードに変更すると、地図オブジェクトは次のようになります：



スライダーを右に動かすと、使用するポイント数が減ります：



ユーザが作成するオブジェクトの最適な近似値に満足したら、終了  または終了し閉じる  ボタンをタップします。その後、オブジェクトが保存されます。



元に戻すをタップすると、オブジェクトが削除され、レコーダに再読み込みされます。その後、ユーザは記録を再開できます。これは、GPS-終了の操作が最後に実行された場合にのみ機能します。

記録の一時停止

描画はいつでも一時停止および再開できますが、ジオメトリに点が追加されるのは記録が進行中の場合のみです。つまり、ユーザは以下のことができます：

1. 記録を開始し、いくつかの点が追加されます。
2. 記録を一時停止します。
3. 記録している場所から離れて、他のことを調査したり描画したりします。
4. おおよその記録場所に戻り、記録を再開します。
5. さらにいくつかのポイントが記録され、その後ユーザは終了します。
6. 作成されたスケッチ／地図オブジェクトには、上記の‘3’と‘4’の動きは含まれません。

元に戻す - やり直し

終了と破棄のどちらの操作も元に戻すことができます。

ユーザが終了をタップすると、スケッチまたは地図オブジェクトが作成されます。ユーザ

が元に戻すをタップすると、スケッチまたは地図オブジェクトが削除され、GPS 記録ツールに再読み込みされます。ユーザは以下の操作を行うことができます：

- 記録を再開して、ジオメトリにポイントを追加し続ける。
- スケッチの色や幅を変更したり、記号を変更する。
- 終了操作を終了し閉じるに変更する。
- スムージングまたは曲線／直線オプションを変更する。

ユーザが破棄  ボタンをタップすると、作成中のジオメトリは削除されます。元に戻すをタップすると、ジオメトリが GPS 記録ツールに再度追加され、ユーザはジオメトリの作成を続行できます。

やり直し操作は一般的に元に戻す操作とは逆の動作をし、スケッチやオブジェクトをやり直しますが、変更は加えません。あるいは、再びジオメトリを破棄します。

GPS ツールバーの非表示

ユーザが記録中に GPS ツールバーを閉じると、地図上に作成しているジオメトリは非表示になりますが、メインの GPS ボタンは点滅して記録が継続中であることを示します。

GPS ツールバーを再度開くと、ジオメトリが再び表示されます。

非表示だが点滅：

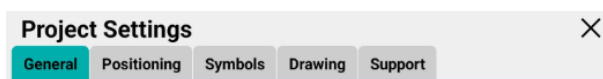


4 設定

アプリには現在、3 種類の設定ページがあり、ページの状況に応じて 1 つまたは複数のタブが表示されます。設定ページを表示するには、設定  ボタンをタップしてください。

1. メール登録中 - [サポート](#) 情報が記載されたタブのあるページが表示されます。

2. プロジェクトページから - [一般設定](#)、[位置情報](#)、[描画](#) および [サポート](#) のタブが表示されるページです。
3. プロジェクトページから - [一般設定](#)、[位置情報](#)、[記号](#)、[描画](#) および [サポート](#) のタブが表示されるページです。



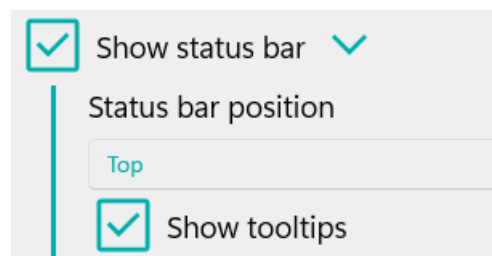
閉じる ✕ ボタンをタップすると、設定ページが閉じ、アプリは直前に表示されていたページに戻ります

4.1 表記規則

設定ページには、小さな矢印ボタンが表示されます。



これは展開ボタンです。チェックボックスをタップすると、展開ボタンもタップして、設定に関連するその他のオプションを表示できます。展開すると、チェックボックスの下に緑色の縦線が表示され、右下に表示されるサブ設定の範囲を示します：



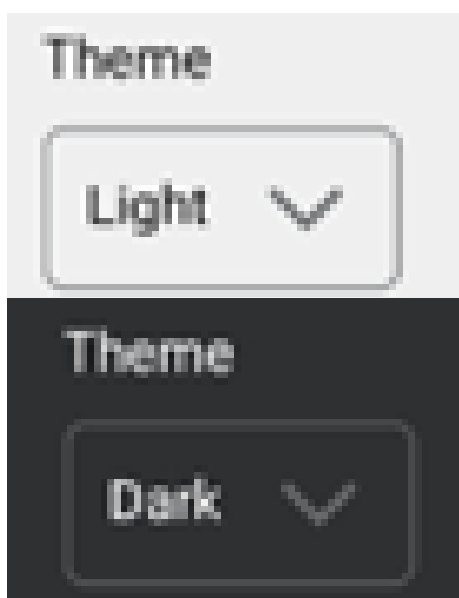
以下のセクションでは、各タブのさまざまな設定について説明します：

4.2 一般設定

このタブには一般設定が表示されます：

テーマ

OCAD アプリにはライトモードとダークモードがあります：



システムデフォルト選択すると、デバイスのオペレーティングシステムで設定されているモードが使用されます。

言語

アプリでは現在、複数の言語から選択できます。



ボタンサイズ

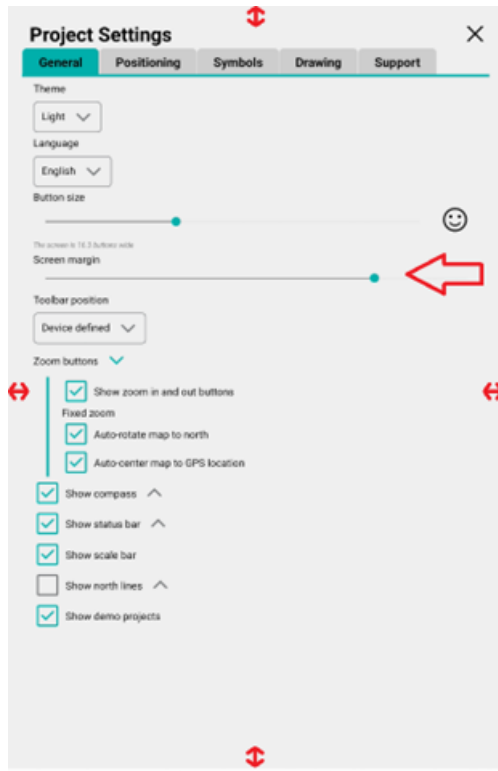
ユーザはスライダーを調整することにより、アプリ内での希望のボタンサイズを決めることができます：



画面幅全体に表示されるボタンの数も表示されます。これは、[記号のお気に入り](#)を作成する際や、スマートフォンなどの小型デバイスを使用する際に役立ちます。小さいサイズはスタイラスペンでの操作に適しており、大きいサイズは指での操作に適しています。

画面の余白

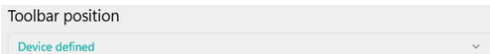
一部のデバイスでは画面端のタップに反応しない場合があります。アプリの周囲の余白を広げることで、画面の縁が使用されないようにすることができます：



ツールバーの位置

ツールバーには2つの位置があります：

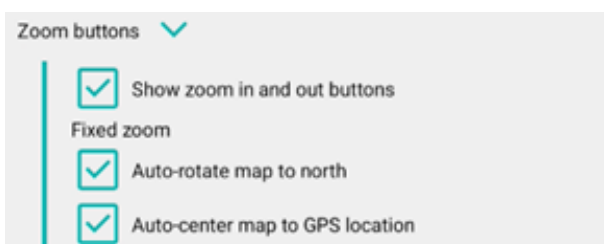
- フローティングで移動可能
- 画面下部に固定



この設定のデフォルトは“デバイス定義”となっており、これは小型デバイスではツールバーは画面下部に固定され、大型デバイスではフローティング表示されます。

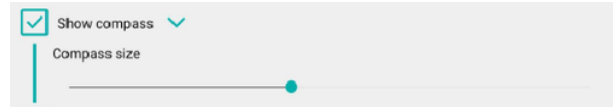
ズーム

これらの設定を使用すると、ズームイン／ズームアウトボタンを非表示にできます。固定ズームレベルのアクションにおける自動回転機能と自動中央揃え機能もオフにすることができます。



コンパス

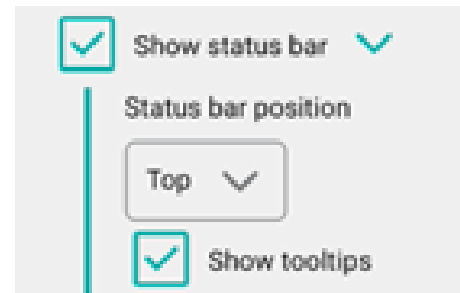
デバイスにコンパス（内蔵または外付け）が搭載されている場合、この設定が表示されます。コンパスのサイズも指定できます：



ステータスバー

ステータスバーは非表示にできます。表示されている場合：

- 画面の上部または下部に配置できます。
- テキストツールチップを表示または非表示にできます。



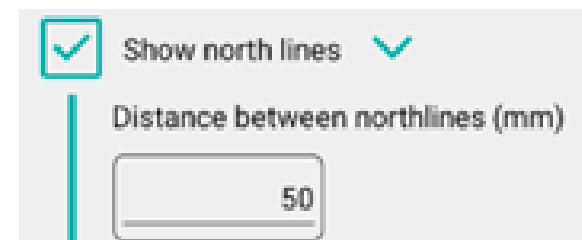
縮尺バー

地図上の縮尺バーは非表示にできます：



磁北線

このアプリでは、地図上に等間隔（ミリメートル単位）の磁北線を重ねて表示できます。これらの磁北線はアプリ内にのみ存在し、実際に描画される磁北線とは異なることに注意してください。



デモプロジェクト

アプリにデモプロジェクトを追加する2つのオプションは、このチェックボックスで非表示にできます。

ユーザ設定

ユーザ設定ボタンをタップします：



ユーザ設定ページが開きます：

The 'User Settings' screen has a close button (X) and a settings gear icon. It contains three input fields: 'Email' with 'me@makemaps.com', 'First name' with 'Rocky', and 'Surname' with 'Road'. At the bottom is a teal button with a person icon and the text 'Unregister'.

“登録解除” ボタンをタップすると、デバイスが OCAD サーバーから登録解除されます。詳しくは、[登録](#)および [技術ノート](#) をご覧ください。

現在、登録を解除して再登録しない限り、メールアドレスや名前を変更する方法はありません。

注：インターネット接続が必要です。

4.3 測地

このタブには、GPS および測地機能に関する一般的な設定が含まれています。

The 'Project Settings' screen has five tabs: 'General', 'Positioning' (selected), 'Symbols', 'Drawing', and 'Support'.

測地

地図上にユーザの現在位置をインジケータで表示できます。インジケータのサイズ、色、種類は変更可能です。

The 'Positioning' settings screen includes checkboxes for 'Show current position' and 'Show position precision'. Below are 'Indicator type' (with icons for crosshair, circle, and square), 'Indicator size' (a slider), and 'Indicator color' (a rainbow color bar with a 'Default' button).

デフォルトの色の  四角をタップすると、色が紫色に戻ります。

利用可能な GPS 衛星の数は測地の精度に影響します。測地の精度は、“測地精度を表示”チェックボックスをタップすることで地図上に表示できます。

これにより、地図上のその場所の周囲に網掛けされた円が表示されます。円が小さいほど、位置の精度が高いことを示します。

ロギング（記録）と経路追跡

このアプリは、ユーザの測地情報を記録し、移動経路の追跡を表示することができます。バックグラウンドログを有効にすると、デバイス上で他のアプリが動作している場合でも、アプリは測地情報の記録を継続します。通常、これにはデバイス上での承認権限が必要です。

経路追跡の視認性や長さ、そして色も変更できます。

The 'Logging and tail' settings screen includes checkboxes for 'Log position', 'Always allow background logging', 'Show position's tail', and 'Only show today's tail'. It also features a 'Tail color' rainbow bar with a 'Default' button and a 'Tail length (m)' input field set to '100'.

デフォルトの色（四角）  をタップすると、色が紫色に戻ります。

4.4 記号

【記号】タブには、“記号のお気に入り”を編集するための設定インターフェースが表示されます。記号のお気に入りとは、ユーザが地図ツールバー上の記号行をカスタマイズし、普段よく使う記号だけを表示させるための機能です。

しかし、記号のお気に入りを複数登録することも可能なので、ユーザは砂丘トレイン用と山岳トレイン用でそれぞれお気に入りの記号を設定できます。

お気に入り登録できる記号の数に制限はありません。

アプリには、以下の3つのプリセット記号が用意されています：

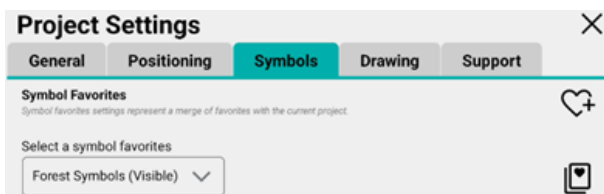
- フォレスト記号
- スプリント記号
- 設定なし

これらの記号は削除できませんが、不要な場合は非表示にすることができます。

記号のお気に入り機能のユーザインターフェースは、お気に入りの選択とお気に入りの編集の2つの部分に分かれています。

お気に入りの選択

【記号】タブの上部には、現在アクティブなお気に入りを選択する機能と、お気に入りを作成・複製するためのボタンがあります：



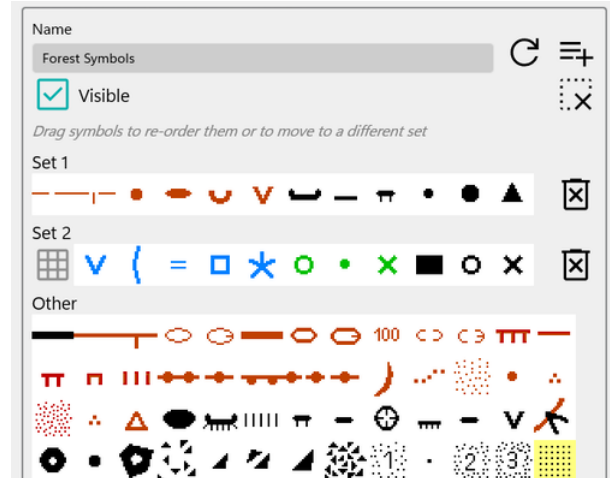
“お気に入りの作成” ボタンを使用すると、新しいお気に入りを作成できます。

“お気に入りを複製” ボタンを使用すると、現在アクティブなお気に入りの新しいコピーを作成できます。

ドロップダウンメニューを使用して、現在有効なお気に入りを選択してください。アクティブなお気に入りは、地図ツールバーに表示されます。ユーザは、[クイック設定パネル](#)を使用して、アクティブなお気に入りを変更することもできます。これにより、下記の[お気に入りエディタ](#)で変更可能なお気に入りも選択されます。

お気に入りエディタ

お気に入りエディタでは、一度に1つのお気に入りを編集できます：



お気に入りには名前が付けられており、（あらかじめ設定されているお気に入りを除き）砂丘、屋内、山岳地帯、森林保護区など、適切な名前に変更できます。

お気に入りのあらかじめ設定されている場合は、“リセット” ボタンが表示され、これを押すと設定が初期状態に戻ります。

この ☒ Visible チェックボックスを使用すると、[クイック設定パネル](#)からお気に入りを非表示にできます。これは、ユーザがスプリント地図を一切作成しない場合に便利で、スプリント記号を非表示にすることができます。

セット

お気に入りはセットで構成されています。セットは地図ツールバーの行を表します。お気に入りには、最大5つのユーザ定義セット（または行）を登録できます。各セットには

多くの記号を含めることができますが、画面幅に収まりきらない場合は、地図ツールバーにスクロールバーが表示されます。

セット数と各セット内の記号数はユーザが自由に設定できますが、ボタンサイズ、画面サイズや向き（縦向き／横向き）によって、地図ツールバーの表示形式は当然変わります。新しいセットを追加するには、“セットの追加”

ボタンをタップしてください。セットを削除するには、削除したいセットの横にある“セットの削除” ボタンをタップしてください。セットの削除は元に戻せないため、削除操作を実行すると警告が表示されます。すべての変更は即座に保存されます。

その他のセット

定義済されたセット（1～5）の下に、“その他の”セットが表示されます。ここには、ユーザが使用しない、またはたまにしか使用しない記号を格納してください。

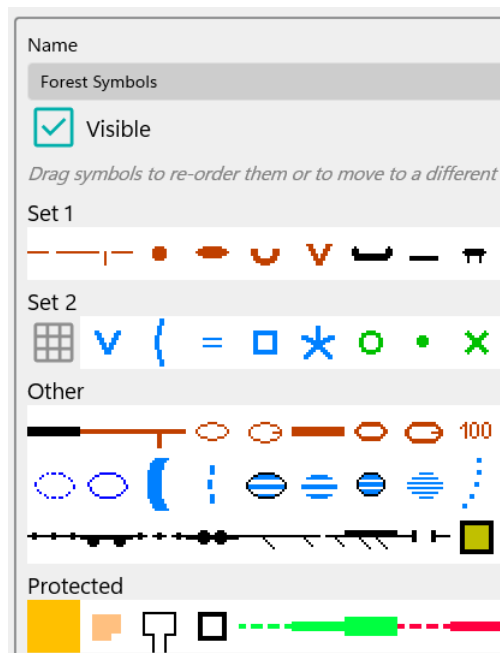
重要： 記号のお気に入りにはプロジェクトに依存しませんが、お気に入りを編集する際には、現在のプロジェクトに含まれる記号のみが表示されます。また、特定の記号に対応するアイコンは、常にプロジェクトファイルから取得されます。例えば、あるプロジェクトでは記号番号 100.001 が道路を表す場合もあれば、別のプロジェクトでは木を表す場合もあります。お気に入りは内部的には単なるセットの定義であり、各セットには記号番号のリストが含まれています。プロジェクトを開くと、アプリは各お気に入りとプロジェクト内の記号を数学的に結合します。お気に入りセットに含まれる記号のうち、プロジェクトに存在しない記号はセット内に残りますが、表示されません。また、ユーザ定義セットには含まれていないがプロジェクトに存在する記号は、“その他”セットに配置されます。

“その他”セットの記号は、記号選択  ボタンをタップしたときに表示される記号選択パネルに表示されます。

注：“その他”セットの記号の順序は現在保存されません。

保護された記号

保護された記号とは、通常地図上で選択できない記号であり、ユーザが追加または編集することを通常望まない記号です。



保護されたセットは、その他セットの下に表示されます。

保護された記号に関する詳細は、[保護された地図オブジェクトの編集](#)を参照してください。

セットの編集

セット内の記号は、あるセットから別のセットへドラッグすることで編集できます。各セット内の記号の順序は、セット内で記号を左右にドラッグすることで編集することもできます。

ユーザは、あるセットから別のセットへ、1つまたは複数の記号をドラッグできます。例えば、ユーザは“その他”セットから4つの水の記号を“セット 1”へ移動し、岩の記号の前に配置します：



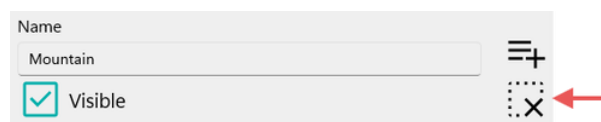
結果：



注：一度にドラッグできるのは、1つのセットの記号のみです。

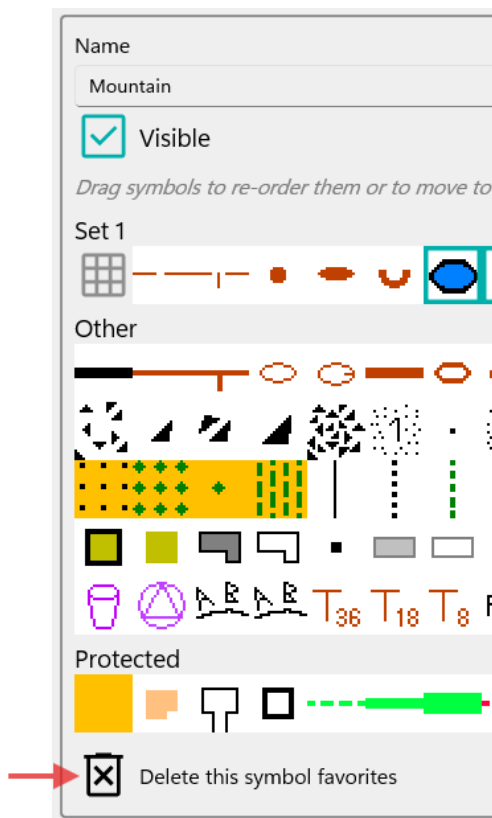
灰色の記号選択ボタンアイコンは、常に最後のユーザ定義セットの先頭に表示されます。これは、地図ツールバーのこの位置に記号選択ボタンが表示されることをユーザに示すためのプレースホルダーです。

すべての記号の選択を解除するには、ここにある選択解除  ボタンをタップしてください：



記号のお気に入りの削除

記号のお気に入りリストの下部にある  削除ボタンをクリックすると、現在登録されている記号のお気に入りを削除できます：



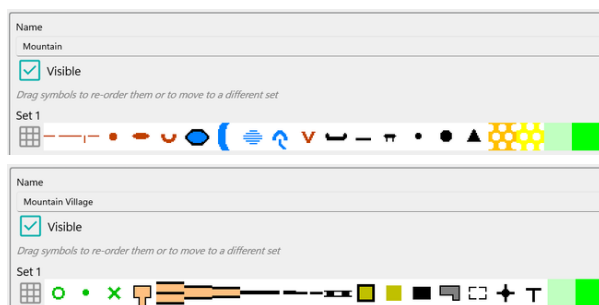
なお、お気に入りを削除すると元に戻すことはできません。変更内容は即座に保存されるので、警告が表示されます。

使用例

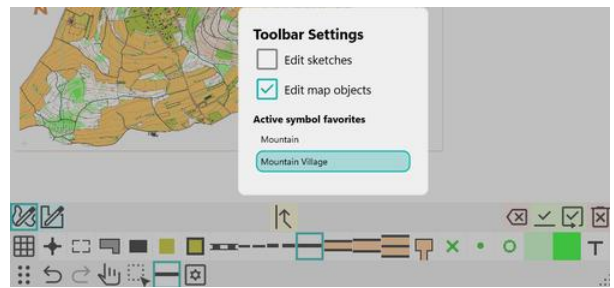
以下は、記号のお気に入り機能の可能性を示す3つの使用例です：

・山岳でのタブレットの使用

2つのお気に入りを設定します：“山岳”と“山の集落”

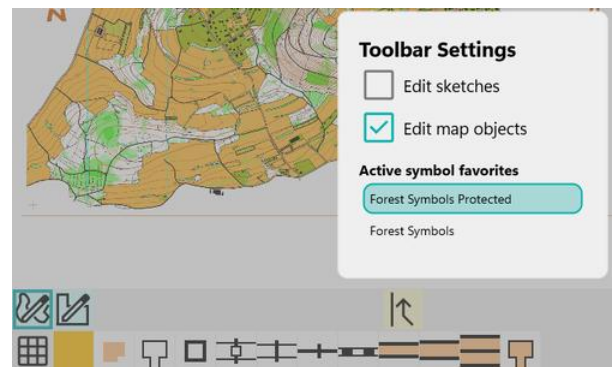


すべての他のお気に入りを非表示にすると、ユーザは現場で[クイック設定パネル](#)を使用して2つのお気に入りセットを簡単に切り替えることができます：



・保護された記号の操作

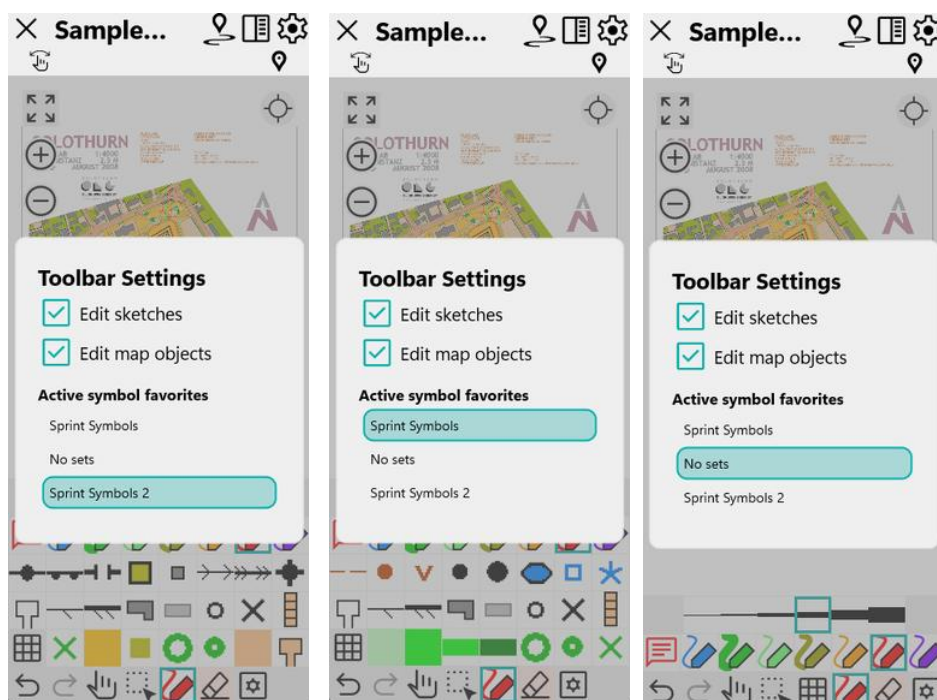
ユーザは、保護された地図オブジェクトを編集したい場合に備えて、お気に入りを複数設定できます：



このお気に入り機能を使用すると、通常は保護されている記号もすべて編集可能になります。使用後は、通常の Forest Symbols のお気に入り機能に戻してください。

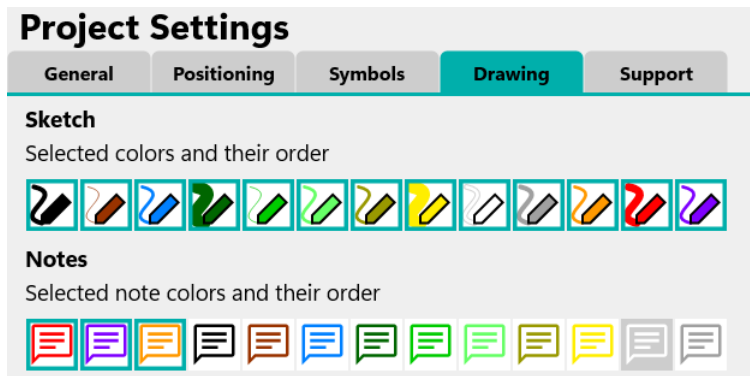
・スマートフォン

限られたスペースで作業する場合、お気に入りをいくつか作成し、スケッチを頻繁に行う場合は“セットなし”のお気に入り機能を使用します。この場合、ユーザは指で描画するにはボタンが8個幅がちょうど良いと判断しています。つまり、8つの記号が3列に並んでいるということです。必要に応じて、ユーザはセット間で共通の記号を使用することもできます：



4.5 描画

{描画} タブには、スケッチや描画に使用する色の選択と順序に関する設定があります。



スケッチ

スケッチカラーボタンをタップすると、オン／オフを切り替えることができます。地図ツールバーには、オンになっている色のみが表示されます。

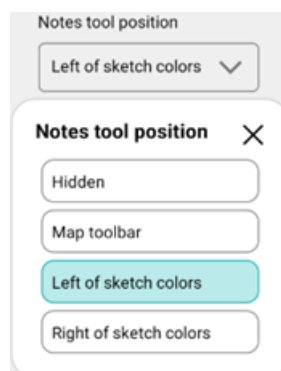
色の順序を変更するには、色を1つずつタップして長押しし、リスト内の新しい位置にドラッグします。

メモ

メモの色ボタンをタップすると、色のオン／オフを切り替えることができます。オンになっている色のみが、メモエディタの下部に表示されます。

色の順序を変更するには、色を1つずつタップして長押しし、リスト内の新しい位置にドラッグします。

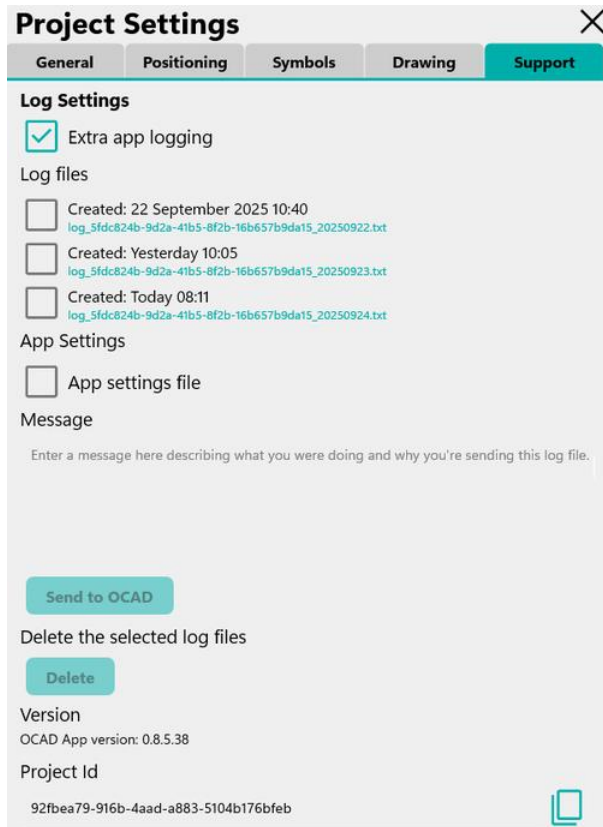
メモツールボタンは、アプリ内で非表示にしたり、異なる場所に配置したりできます。



4.6 サポート

{サポート} 設定タブには、OCAD に情報を送信するための詳細情報と操作手順が記載されています。

一番上にはヘルプセクションがあり、アプリのマニュアルと OCAD Wiki へのリンクが掲載されています：



ログの設定

アプリは、ユーザの操作履歴をデバイス上にテキストファイルで記録します。アプリで問題に遭遇した場合は、“追加アプリログ(Extra app logging)”を有効にして、ログファイルを OCAD に送信し分析してもらうことをお勧めします。

ログファイルはデバイス上にローカルに保存されます。毎日新しいログファイルが作成され、ログファイルが一定のサイズ（16MB）に達すると、古いログファイルは、アプリによって定期的に自動的に削除されます。

ユーザは 1 つまたは複数のログファイルを OCAD に送信できます（インターネット接続が必要です）。ログファイルを送信の際は、操作内容と送信理由を説明するメッセージを添えてください。

重要： 操作内容を説明する際は、クラッシュまたは問題が発生した時刻をできるだけ分単

位で具体的に記述してください。これは OCAD にとって非常に役立ちます。

ログファイルとともにメッセージを送信する場合、最初の 1000 文字のみが送信されます。より長いテキストを送信するには、下記の [フィードバックの送信](#) を参照してください。各ログファイルには、タップしてデバイス上でファイルを開くことができるリンクが含まれています。これは、ユーザがログファイルの一部を OCAD に送信する必要がある場合や、送信機能が失敗した場合に役立ちます。

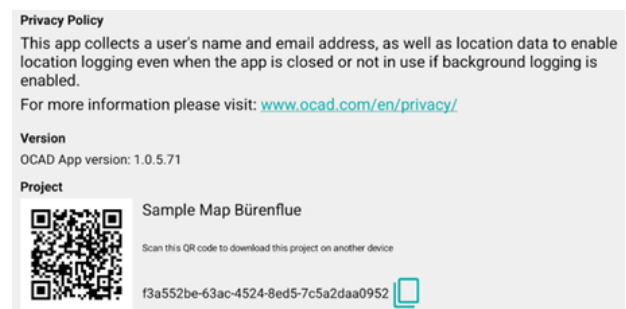
フィードバックの送信

ユーザはメッセージ機能を使用して OCAD にフィードバックメッセージを送信できます。送信できるテキストの文字数に制限はありません。

アプリの設定

アプリの設定には、メモの色順やフローティングツールバーの位置など、細かな情報が含まれています。現在、約 100 種類の項目がここに保存されています。現在使用しているデバイスの設定のコピーを送信するには、ユーザは“アプリ設定ファイル”チェックボックスを選択し、“OCAD に送信”ボタンをタップします。OCAD から指示があった場合のみ実行してください。問題解決に役立つ場合があります。

その他の情報



現在のアプリのバージョンがここに表示されます。

プロジェクトが開いている場合は、ここにプロジェクトの ID が表示されます。右側にある  コピーボタンをクリックすると、現在開いているプロジェクトの ID がデバイスのクリップボードにコピーされます。

このページは 2026 年 3 月 3 日午前 9 時 05 分に最終更新されました。